

口腔外用サクション

フリーアーム・シーテクト-S

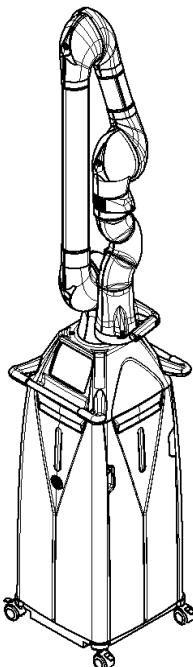
シーテクト-S

取扱説明書

医療機器認証番号

307AHBZX00019000

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



このたびは、シーテクト-Sをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この取扱説明書の **警告**、**禁忌・禁止**、**注意**をよくお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、わからない時は再読してください。
- 電子添文（添付文書）は製品に貼付している銘板の GS1 バーコードを添付文書閲覧アプリ（添文ナビ）にて読み込みご確認ください。
添文ナビは右の「添文ナビ」QRコードよりご参照ください。



※銘板の貼付場所は取扱説明書の各部名称のページでご確認ください。 添文ナビ

正しく使って効率アップ

株式会社 東京技研

目次

■機器の表示記号	3～4
■安全上のご注意	5～6
■医療用電気機器の安全及び危険防止のための使用上の注意事項	7
■輸送及び保管に関する環境条件について	8
■電磁適合性について	8
■廃棄について(環境保護)	8
■概要	9～10
■梱包内容	11
■各部名称	12～16
■取付方法	17～20
■使用方法	21～27
■着脱可能な部品(消耗品)	28
■着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)	28～38
■清掃方法	39～40
■日常点検・定期点検	41
■仕様	41
■アフターサービス	41
■技術情報	42～45

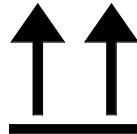
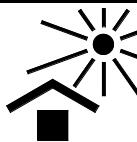
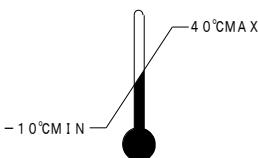
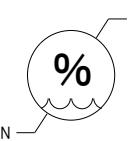
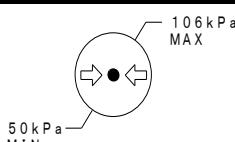
機器の表示記号

機器に表示されているマークについて、下記を参照すること。

	ヒューズを意味します。
	引火性液体及び蒸気が含まれており、熱や火花に晒されると発火するおそれがあることを意味します。
	眠気又はめまいのおそれがあることを意味します。
	重篤な目の損傷のおそれがあることを意味します。
	吸引するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれがあることを意味します。
	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	取扱説明書に従うことを意味します。
	本体電源スイッチ「入」を意味します。
	本体電源スイッチ「切」を意味します。
	操作パネル電源スイッチを意味します。 操作については本取扱説明書の P. 22~P. 25 の使用方法を参照
	調整スイッチ「+」を意味します。 操作については本取扱説明書の P. 22~P. 25 の使用方法を参照
	調整スイッチ「-」を意味します。 操作については本取扱説明書の P. 22~P. 25 の使用方法を参照

機器の表示記号

機器に表示されているマークについて、下記を参照すること。

	包装貨物の中身は壊れやすいため、輸送時に注意して取り扱わねばいけないことを意味します。
	包装貨物の正しい上向き方向を表し、逆さや横積みしてはいけないことを意味します。
	包装貨物が水濡れしないようにしなければいけないことを意味します。
	包装貨物を直射日光にさらしてはいけないことを意味します。
	輸送時に周囲温度が-10°Cから40°Cの範囲でなければいけないことを意味します。
	輸送時に相対湿度が20%から90%の範囲でなければいけないことを意味します。
	輸送時に気圧が50kPaから106kPaの範囲でなければいけないことを意味します。
	このマークの付近に吸引のON-OFFの操作を行うセンサースイッチがあることを示しています。 操作については本取扱説明書P.21~25の使用方法を参照
	このマークの付近にフードの取り外しを行うフードリリースボタンがあることを示しています。 操作については本取扱説明書P.28の着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)を参照
	このマークの付近にLEDのON-OFFの操作を行うLEDライトスイッチがあることを示しています。 操作については本取扱説明書P.25の使用方法を参照
	装置を横から押すことの禁止を意味します。
	保護接地を意味します。

安全上のご注意

本書ではお使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため必ずお守りいただく内容を次のように説明しています。

- 安全に関わる注意事項を、その危険の大きさの程度によって、次の表示で区分して説明しています。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 禁忌・禁止	「特別な事情により本医療機器を適用すべきでない患者についての情報」、「使用目的や適応患者等、製造販売業者の責任範囲を超える不適切な使用方法」、「併用してはならない医療機器」を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分して説明しています。

	してはいけない禁止事項を示しています。
	必ず実行していただく強制・指示事項を示しています。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・ LED ライト及びセンサースイッチを直視しないでください。目に障害を与える可能性があります。・ 機器の改造はしないでください。・ 装置を横から押さないでください。・ 当社が指定する電源コード以外は使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・ 植込み型心臓ペースメーカー又は植込み型除細動器を使用している患者において本装置の使用中、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の本体電源スイッチを「切」にし使用を中止してください。(本製品から発せられる電磁波によりペースメーカー又は除細動器の機能に障害を与えるおそれがあります)・ 消耗品交換のため、メンテナンスパネルを開閉する際は本体電源スイッチを「切」にしてください。・ 電源プラグを奥まで確実に挿し込んでください。・ 電撃の危険を回避するためアースを接続してください。

禁忌・禁止

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・ 義歯などのチタン材料、有機溶剤（レジン液、アルコールなど）、可燃性異物の吸引はしないでください。[火災等を引き起こす可能性があるため]・ 液体の吸引はしないでください。[感電を引き起こす可能性があるため]・ 口腔外に飛散する飛沫を除去する目的以外での使用はしないでください。
---	---

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・フードを外しての使用はしないでください。・アームに必要以上の荷重や衝撃を与えないでください。・過熱する恐れがある光等、熱源にさらしての使用、放置はしないでください。・吸引口付近に物を置かないでください。・センサースイッチの近くに、布や物を置かないでください。・機器を患者及び幼児や子供に触らせないでください。・不具合状態及び未整備状態での使用はしないでください。 (未整備とは、保守点検を行っていない状態を言います)・変形、変色の恐れのある有機溶剤及び薬液の使用をしないでください。・感電防止のため、濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。・レジン使用での治療中、LED ライトを照射しないでください。[レジンが固まる可能性があるため]・歯科用ユニット又は無影灯などの機器を動かす際には、本製品に接触させないでください。 (患者への接触、あるいは本製品が破損するおそれがあります)・本書に記載の箇所以外のドライバーおよび工具を使用しての「分解」はしないでください。・濡れた手で本体電源スイッチを操作しないでください。・キャスター停止を解除していない状態で移動させないでください。・梱包状態での保管や輸送の際は、箱の上に物を置かないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・異常・故障時には直ちに使用を中止してください。・お手入れの際は本体電源スイッチを「切」にして、作業を行ってください。・移動時はアームを指定された姿勢で収納し、キャスター停止を解除し、前後のハンドルを両手で握るようにし、転倒しないようにしてください。・機器使用時は、キャスター停止をかけ、転倒しないようにしてください。

☆下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ① 当社または当社の指定した業者以外による改造・保守及び修理
- ② 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷
- ③ 当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理
- ④ この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合
- ⑤ この取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による場合
- ⑥ 火災・天災(地震・水害・落雷等)の場合

医療用電気機器の安全及び危険防止の為の使用上の注意事項

1. 歯科医師及びスタッフ以外は機器を使用しないでください。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意してください。
 - ①水のかからない場所に設置してください。
 - ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分・硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置してください。
 - ③傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
 - ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないでください。
 - ⑤電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は消費電力)に注意してください。
 - ⑥設置場所には室温が5°Cから30°C、相対湿度が30%から75%になるように設置を行ってください。
また、標高が2,000m以内(気圧80kPaから106kPa)の場所に設置するようにしてください。
3. 機器を使用する前に電源コードの接続が正確でかつ安全に接続されていることを確認してください。
4. 機器の使用中は次の事項に注意してください。
 - ①機器全般に異常のないことを絶えず監視してください。
 - ②機器に異常が発見された場合には機器の動作を止めるなど、適切な措置を講じてください。
 - ③機器に患者が触れることがないよう注意してください。
5. 機器の使用後は次の事項に注意してください。
 - ①定められた手順により使用前の状態に戻した後、本体電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
 - ②コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないでください。
6. 故障した時は勝手にいじらず適切な処置を行い、修理は専門家に任せてください。
7. 機器は改造しないでください。
8. 異常音がする場合は使用しないでください。
9. 携帯形RF通信機器(アンテナケーブル及び外部アンテナ等の周辺機器を含む)をME機器又はMEシステムのあらゆる部分から30cmよりも近づけないでください。近づけた場合、機器の性能の低下が生じる可能性があります。
+
10. 保守点検
 - ①清掃の方法取扱説明書【清掃方法】を参照してください。
 - ②しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動する事を確認してください。
 - ③使用中に異常が感じられた場合は本体電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いて、購入先または当社に連絡してください。

本装置使用中に異常が感じられた場合は本体電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いて、
購入先または当社まで連絡してください。

輸送及び保管に関する環境条件について

輸送及び保管に関しては下記の内容に注意してください。

- ①傾斜、振動、衝撃などないように輸送及び保管を行ってください。
- ②水がかからないように輸送及び保管を行ってください。
- ③気圧、風通し、日光、埃、塩分・硫黄分を含んだ空気などにより悪影響のない場所に輸送及び保管を行ってください。
- ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しないでください。
- ⑤周囲温度範囲-10°Cから40°C、相対湿度20%から90%(非結露)、気圧が50kPaから106kPaの範囲で輸送及び保管してください。

電磁適合性について

本製品は、医療用電気機器の電磁両立性の規格に適合しています。

本製品は、CISPR11に基づくクラス分け グループ1 クラスBに分類されます。

ただし、生命維持機器など、電磁障害で重大な危険性が生じる恐れのある機器は、本製品の近くでは使用しないでください。

EMC適合

本製品は、専門的な医療環境での使用を意図しています。

不正確な動作を生じる可能性があるので、他の機器と近接させて又は積み重ねて使用することを避けてください。

そのような使用が必要な場合、この機器及び他の機器が正常に動作することを確認してください。

当社が指定する、最大長2.5mの電源コード以外は使用しないでください。

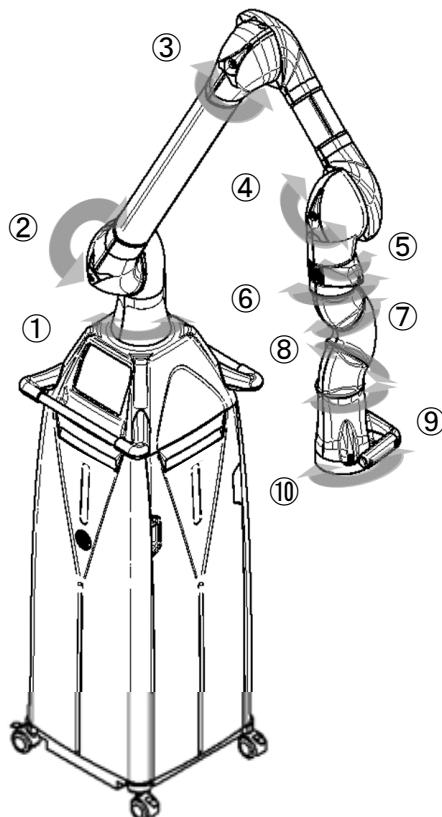
廃棄について(環境保護)

廃棄処分する場合、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」にて、排出事業者となる医療関係機関にて廃棄することが定められており、当社では廃棄物の収集・運搬・処理をお受けすることはできません。

製品の入れ替え等で廃棄する際は、排出事業者から産業廃棄物処理業者または、各都道府県の産業資源循環協会等へご相談の上、廃棄処理するようお願いします。

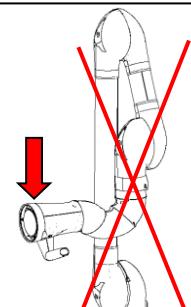
概要

- ・本製品は、歯科治療患者に対しての歯科治療において、高速切削等により口腔外に飛散する飛沫(血液や唾液及び歯の破片)を除去する目的として使用し、吸引ポンプを内蔵した自立式の機器です。
- ・歯科治療に関する知識を有する歯科医師及び歯科衛生士のみが使用できる製品です。
- ・アーム、フード、本体で構成されています。
- ・アームは可動し、可動部位は下図の①～⑩で位置を任意に設定できます。
- ・アームのセンサースイッチに手をかざすことで内蔵しているプロワが始動し、負圧がかかることで、アーム内に風が流れます。この風により、歯科治療中に口腔外に飛散する飛沫を吸引除去できます。
- ・クリーニングモードを使用する事により、微風量で機器内部の水分を乾燥させる事ができ、0.5時間から2時間後(操作パネルで設定)に自動停止します。
- ・フード及びグリップは取り外し可能で、患者ごとに都度取り外し・清掃を行ってください。
- ・製品、消耗品は医療廃棄物として廃棄してください。
- ・周囲温度5°Cから30°C、相対湿度30%から75%の環境、標高が2,000m以内(気圧80kPaから106kPa)の場所で使用してください。



⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">各関節は回転方向に沿って操作し、それ以外の方向へ動かさないでください。 以下のことを行なうと破損し故障の原因となります。<ul style="list-style-type: none">①ストッパーに当たった状態で荷重を加えること。②無理な方向への荷重を加えること。アーム操作を行う際は、各カバーの切り欠きに触れないようにしてください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">アームの位置決めは関節の可動範囲内で静かに操作してください。

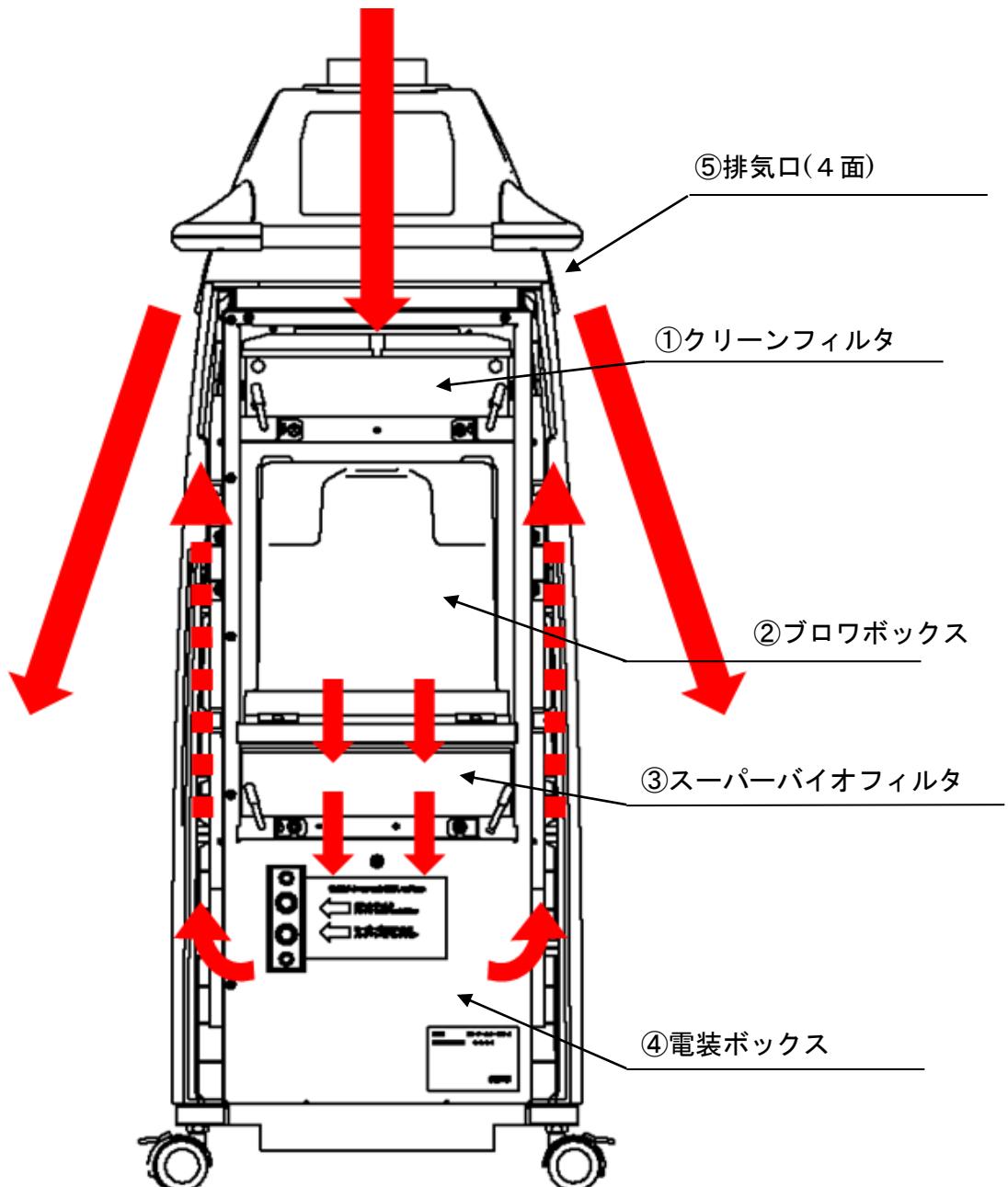


無理な方向の荷重の例

概要

吸引された空気は、最初にクリーンフィルタにより水分や切削物が集められます。
そしてプロワボックスからの排気は、スーパーバイオフィルタにより $0.3\mu\text{m}$ 以上の粉塵が 99.97%以上取り除かれます。
粉塵が取り除かれた排気はカバーと本体の間を通って上昇し、排気口から排気されます。

空気の流れ



梱包内容

開封後、下記内容が揃っていることを必ず最初に確認してください。

◆梱包構成

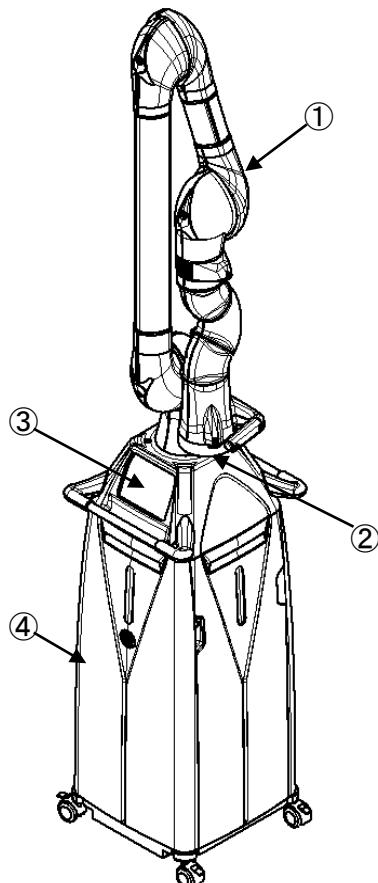
- ・アームセット
- ・シーテクト-S セット

アームセット	
アーム ×1台	フードセット (N フード・L フード) ×1個
サイレントフィルタ ×2個	スポンジブラシ ×1本

シーテクト-S セット		
本体 ×1台	電源コード ×1本	コードガイド ×1個
取扱説明書 ×1部	保証登録用紙 ×1部	フリーアーム・クリーニングシート ×1箱

各部名称

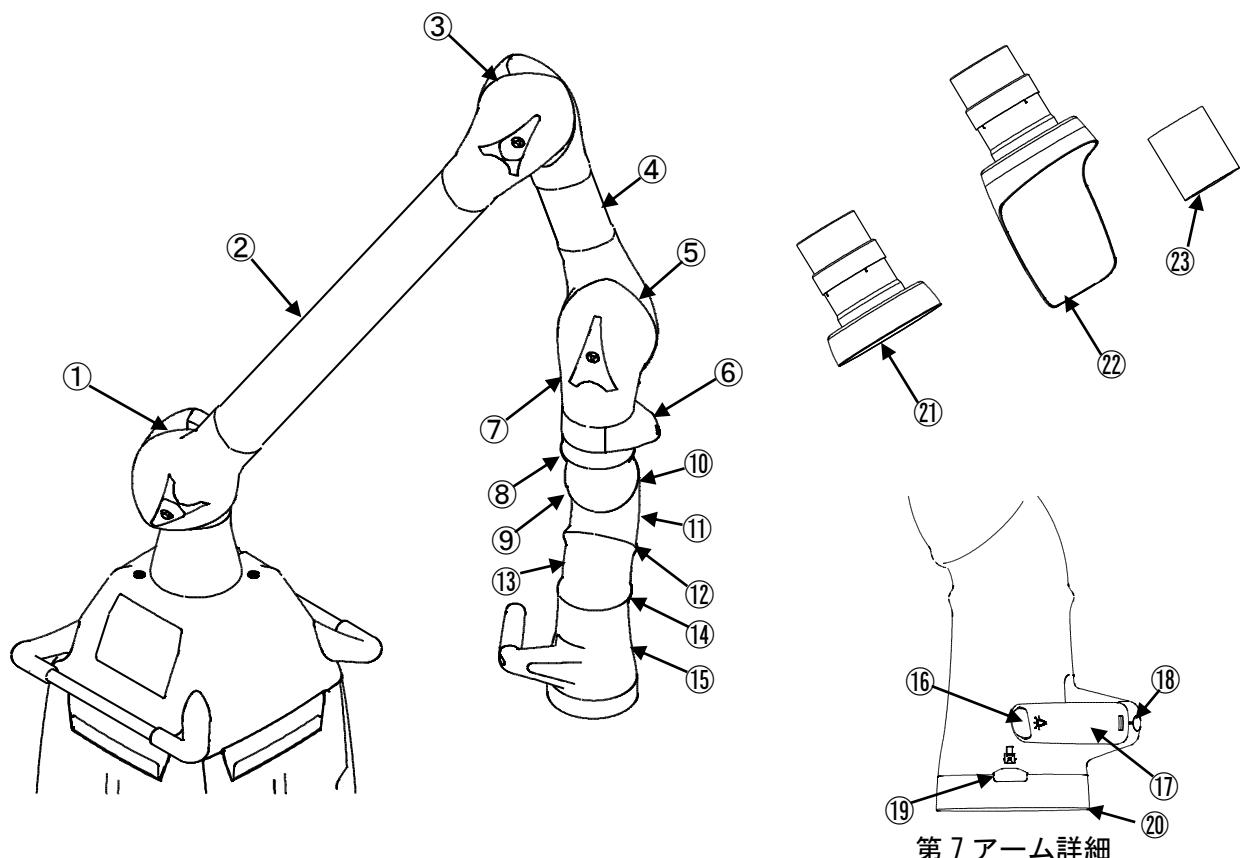
●全体構成



番号	品名	備考
1	アーム	本取扱説明書 P. 13 に詳細を記載
2	フード	本取扱説明書 P. 13 に詳細を記載
3	操作パネル	本取扱説明書 P. 14 に詳細を記載
4	本体	本取扱説明書 P. 15、16 に詳細を記載

各部名称

●アーム・フードの詳細



品名	番号	各部名称	備考
アーム	1	第1関節	
	2	第1アーム	
	3	第2関節	
	4	第2アーム	
	5	第3関節	
	6	センサースイッチ	
	7	第3アーム	
	8	第4関節	
	9	第4アーム	
	10	第5関節	
	11	第5アーム	
	12	第6関節	
	13	第6アーム	
	14	第7関節	
	15	第7アーム	
フード	16	LED ライツイッチ	
	17	グリップ	グリップカバー付き
	18	グリップリリースボタン	
フード	19	フードリリースボタン	
	20	LED ライト	
	21	N フード	消耗品
フード	22	L フード	消耗品
	23	サイレントフィルタ	消耗品

各部名称

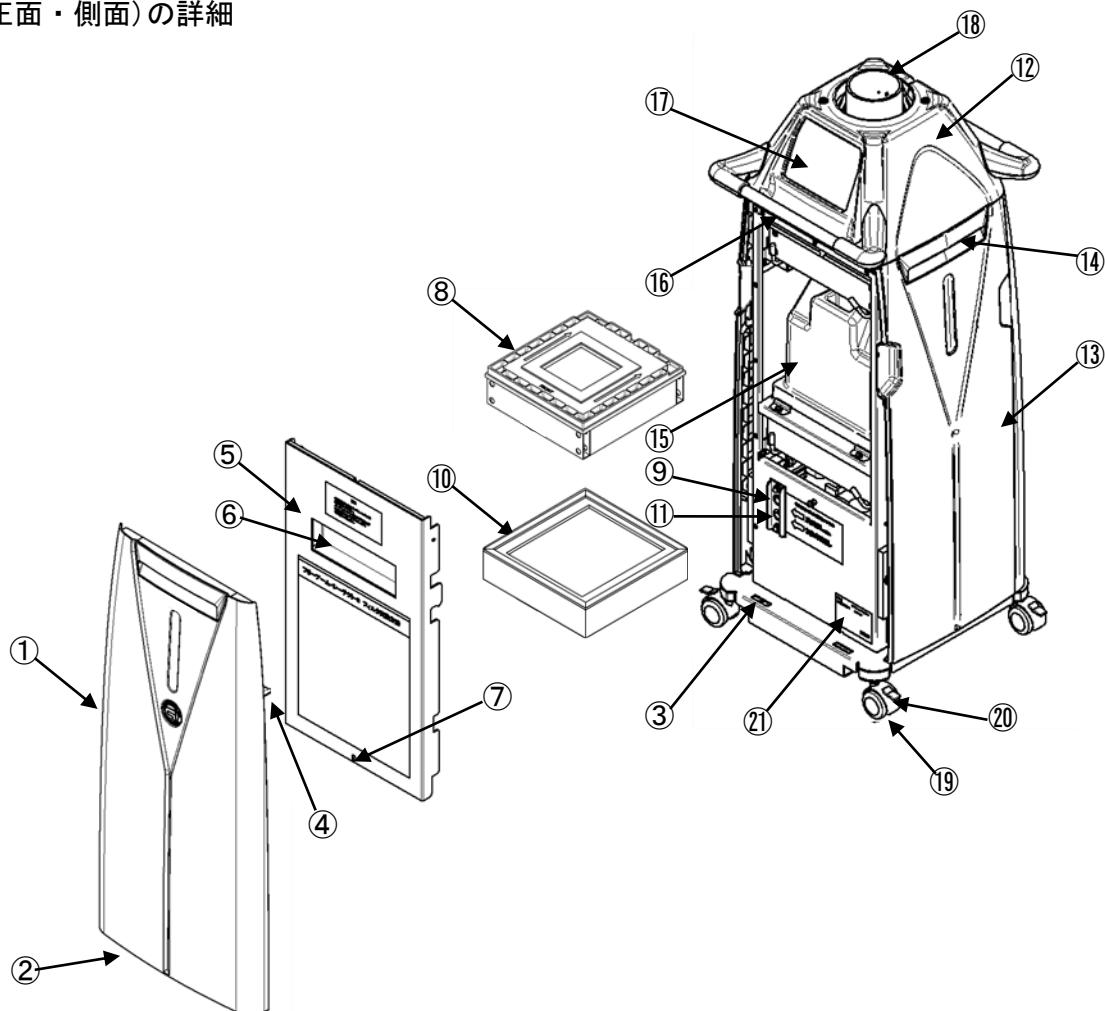
●操作パネルの詳細



品名	番号	各部名称	備考
スイッチ	1	操作パネル電源スイッチ	
	2	調整スイッチ「-」	サクションモード：設定風量を1段階減 クリーニングモード：タイマー設定時間を1段階減
	3	MODE CHANGE スイッチ	サクションモード、クリーニングモードの切替
	4	調整スイッチ「+」	サクションモード：設定風量を1段階増 クリーニングモード：タイマー設定時間を1段階増
	5	TURBO スイッチ	サクションモードのとき設定風量を最大に設定 再度ボタンを押すと、直前の設定風量に戻る。
表示	6	「SUCTION MODE」	サクションモードのとき点灯 操作パネル電源スイッチを長押しして吸引開始した場合は点滅
	7	「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「T」	サクションモードのとき対応したボリュームが点灯
	8	「CLEANING MODE」	クリーニングモードのとき点灯
	9	「0.5h」、「1h」、「1.5h」、「2h」	クリーニングモードのとき対応したタイマー設定時間(クリーニングモード動作時間)が点灯
	10	「CF」交換お知らせ	クリーンフィルタ交換のお知らせ時に点灯
	11	「SBF」交換お知らせ	スーパーバイオフィルタ交換のお知らせ時に点灯

各部名称

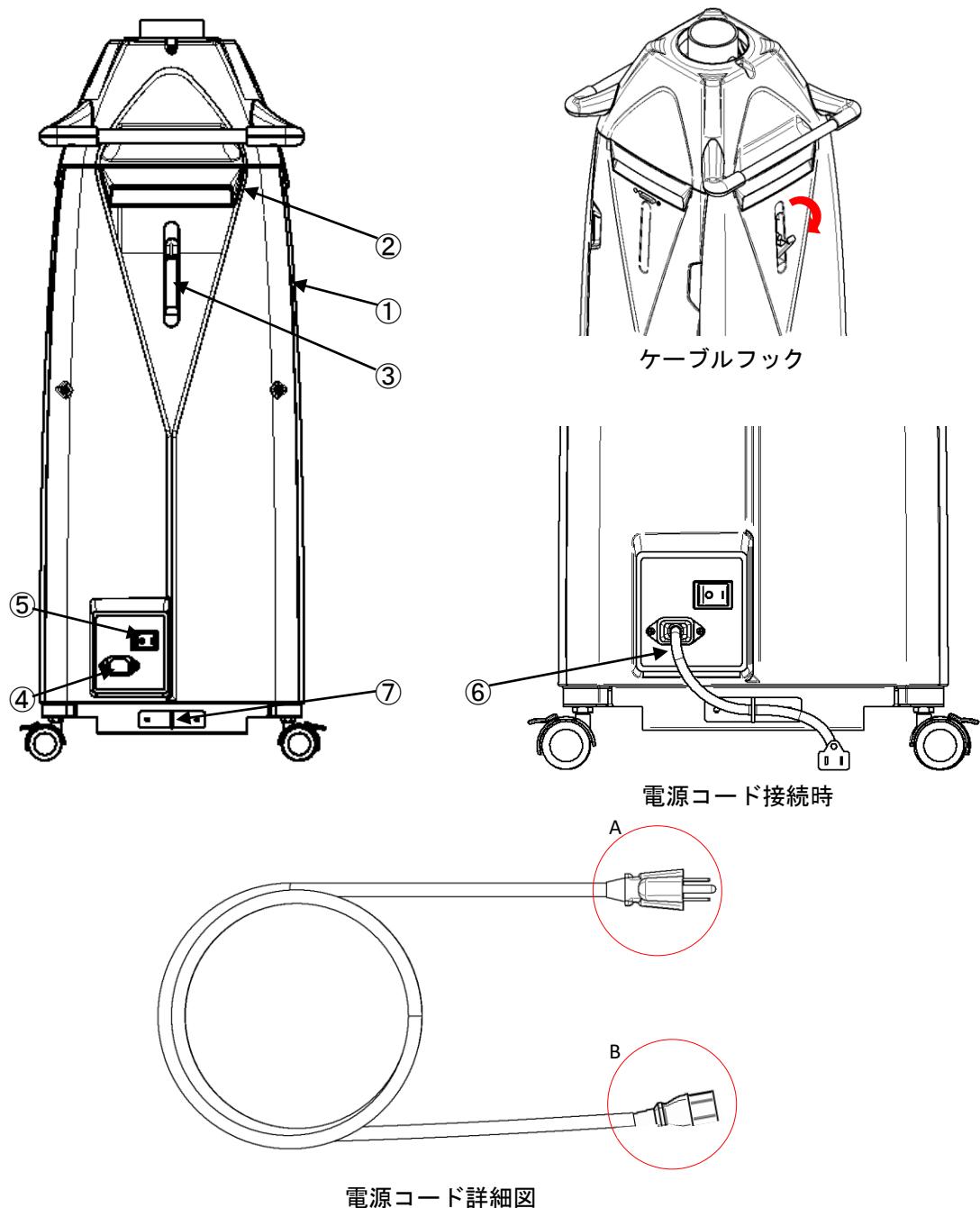
●本体(正面・側面)の詳細



番号	品名	備考
1	フロントカバー	
2	フロントカバー爪	
3	本体溝	
4	ロックレバー	フロントカバーを外す際に使用
5	メンテナンスパネル	
6	メンテナンスパネル取っ手	
7	メンテナンスパネル固定ネジ	M4 ネジ
8	クリーンフィルタ (CF)	消耗品
9	CF メンテナンスリセットボタン	
10	スーパーバイオフィルタ (SBF)	消耗品
11	SBF メンテナンスリセットボタン	
12	トップカバー	
13	サイドカバー	
14	排気口	
15	プロワボックス	
16	ハンドル	移動時に使用
17	操作パネル	
18	アーム挿入部	
19	キャスター	
20	キャスター停止バー	吸引時に停止バー固定
21	製品銘板	フロントカバーを取り外すと確認可能

各部名称

●本体(背面)の詳細



番号	品名	備考
1	リアカバー	
2	排気口	
3	ケーブルフック	電源コードを収納するためのフック
4	電源コード接続部	電源コード詳細図の B を接続
5	本体電源スイッチ	
6	電源コード	詳細図 A : 3P プラグ、B : インレットプラグ
7	コードガイド	

取付方法

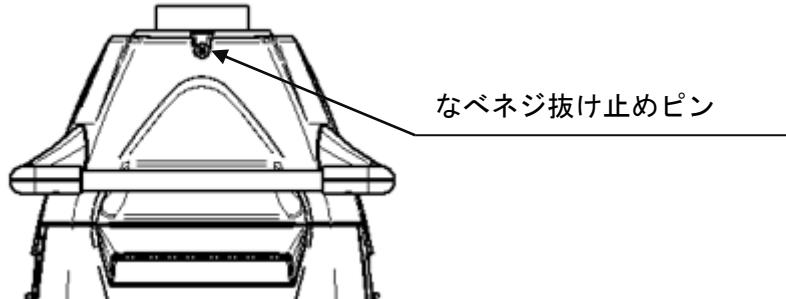
機器の取付、据付は専門の担当者(当社又は当社指定の業者)が行ってください。

⚠ 注意

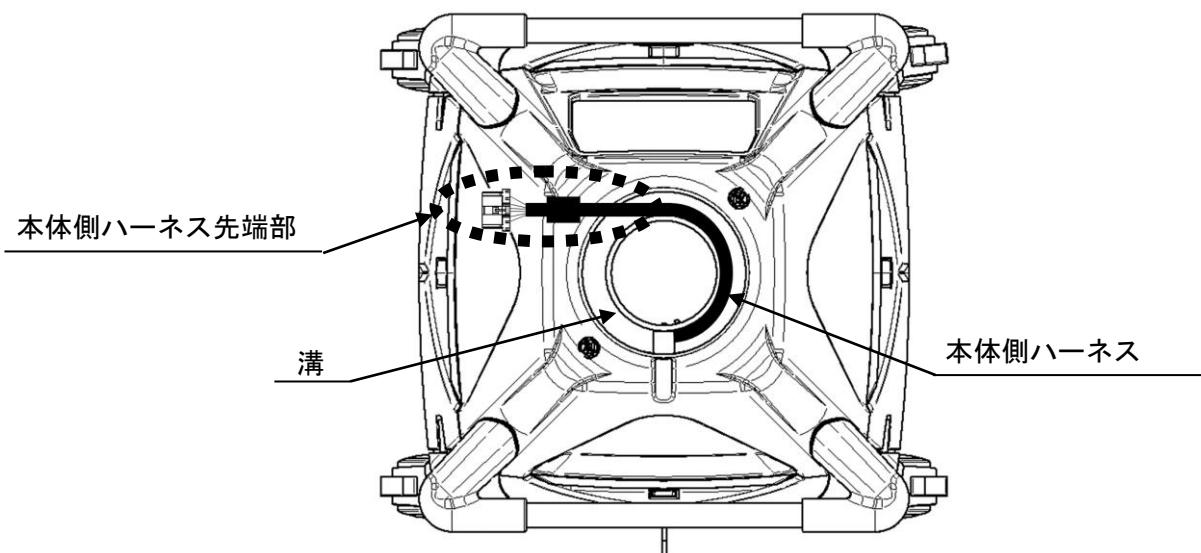


- 指示
- ・静電気による故障防止のため、グローブを着用して作業を行ってください。
 - ・作業前は体内的静電気を除去してください。
 - ・機器の取付、据付は専門の担当者(当社又は当社指定の業者)が行ってください。

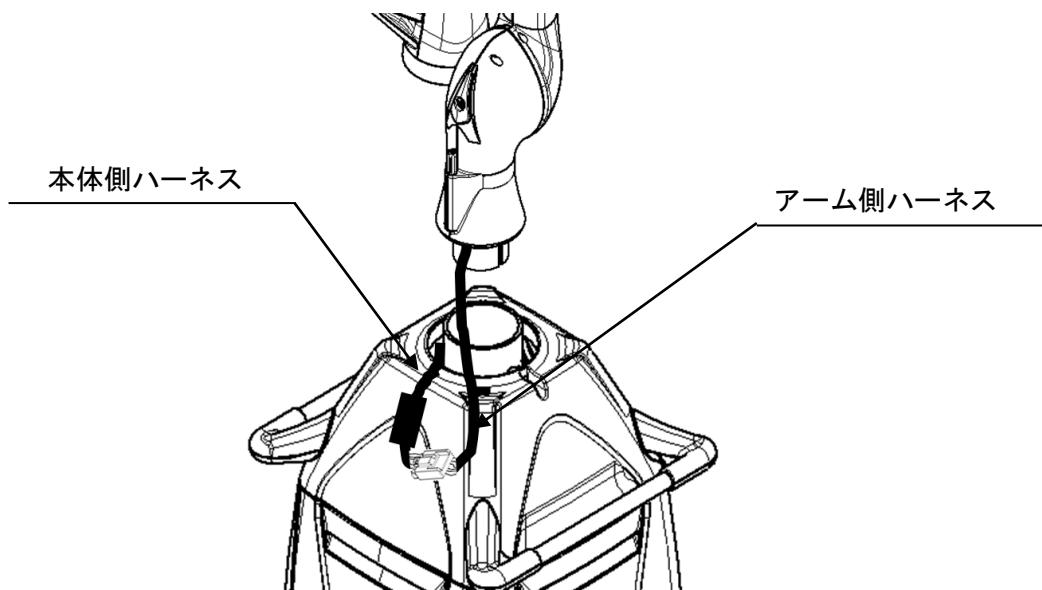
①本体背面側にあるアーム挿入部のなべネジ抜け止めピンを外してください。



②本体側ハーネスの先端部を溝から取り出し、下図のように本体上部に置いてください。

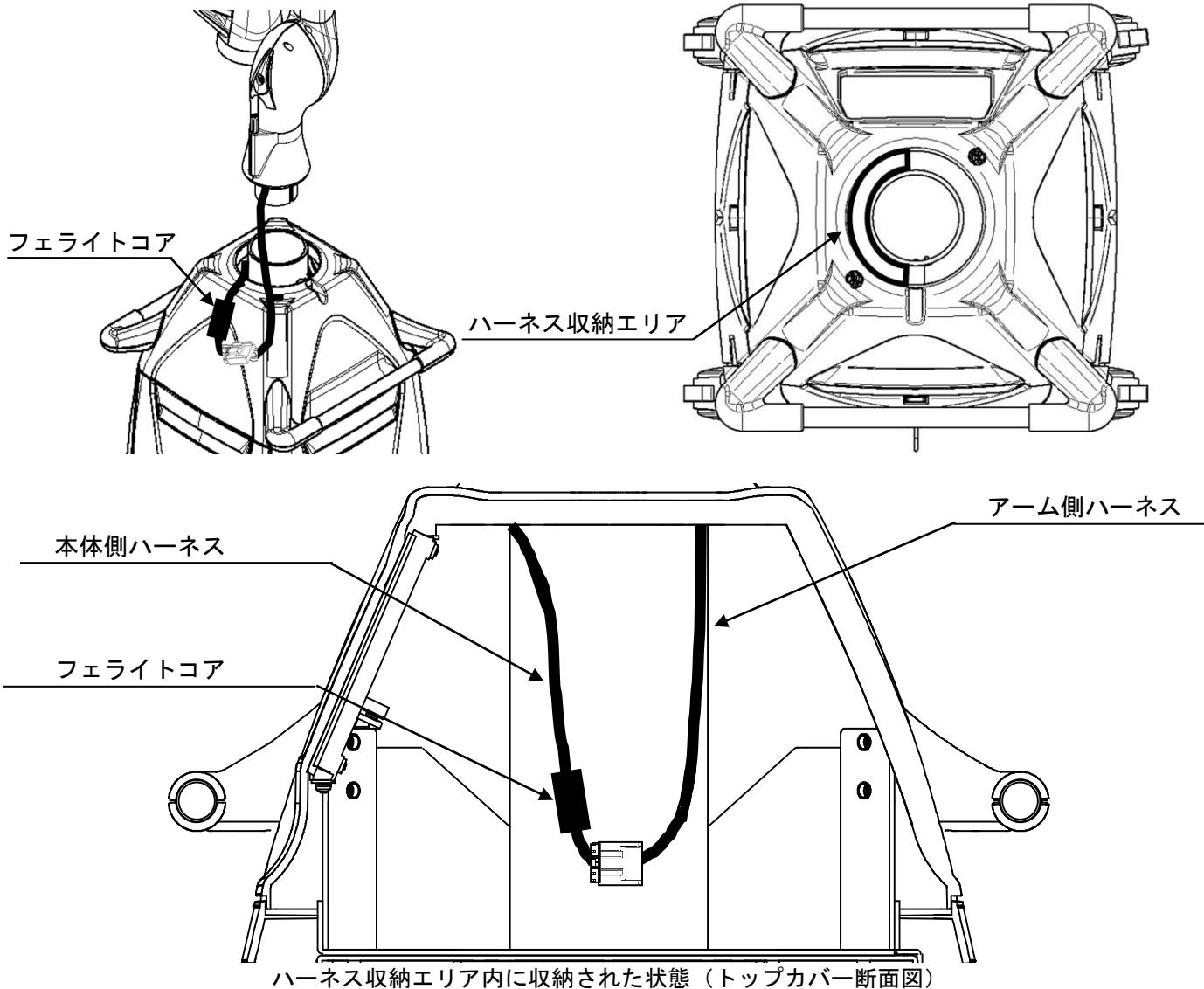


③本体側ハーネスとアーム側ハーネスのコネクタを下図のように接続してください。



取付方法

④コネクタ接続後、ハーネスを下図のハーネス収納エリア（枠内）に収納してください。この時、ハーネス、フェライトコアを確実に奥まで押し込んでください。



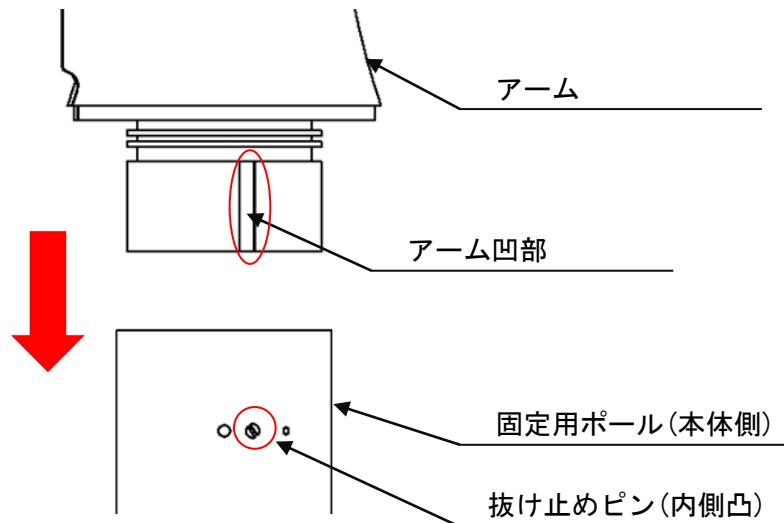
!**注意**



- ・コネクタは奥まで挿し込んで、確実に接続してください。
- ・アームを本体に固定する際、配線の挟み込みに注意して行ってください。
- ・コネクタを接続する際、ハーネスがねじれないようにしてください。断線の恐れがあります。
- ・ハーネスを収納する際、ハーネスをトップカバー内の奥まで押し込んでください。断線の恐れがあります。
- ・ハーネスを収納する際、必ず当社が指定する範囲内に収納してください。断線の恐れがあります。

取付方法

⑤アームの凹部と固定用ポールの抜け止めピン(内側凸)に合わせて、アームを本体に接続してください。

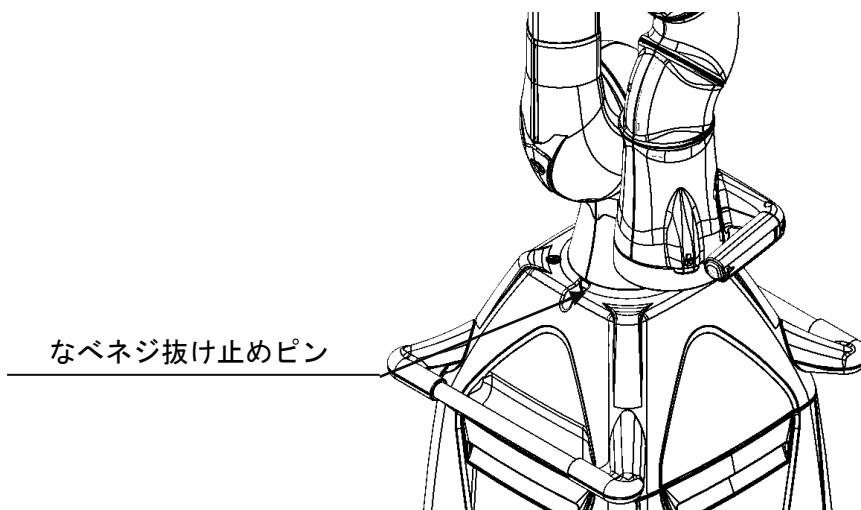


⚠ 注意

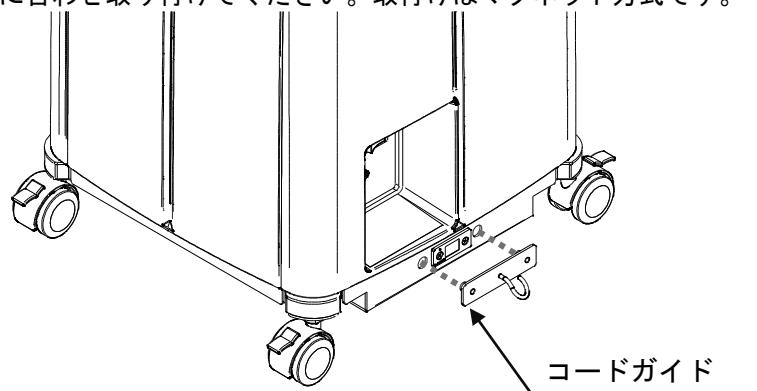


・アームを本体に設置する際、配線の挟み込みに注意して行ってください。

⑥本体とアームを接続した状態でなべネジ抜け止めピンを挿し込んでください。



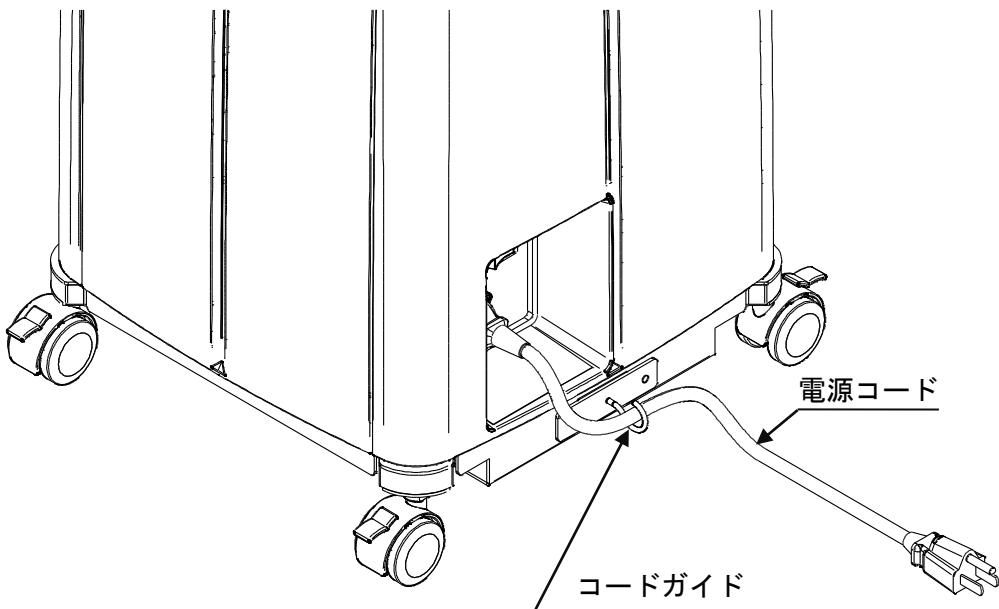
⑦コードガイドの凸部を本体凹部に合わせ取り付けてください。取付けはマグネット方式です。



取付方法

⑧電源コードのインレットプラグ側を本体に挿し込んでください。

⑨電源コードをコードガイドに引掛けてください。



⑩電源コードの3Pプラグ側をコンセントに挿し込んでください。

⑪本体電源スイッチを「入」にし、操作パネル電源スイッチを押してください。

⑫調整スイッチ「+」もしくは調整スイッチ「-」を操作し、風量を「5」に設定してください。

⑬操作パネルの調整スイッチ「+」、「-」を同時に5秒間長押ししてください。設置日の登録が実行されます。

⑭操作パネルの設定風量が「1」に切り替わっていれば設置日登録は完了です。

※⑬完了後、操作パネルの設定風量が「1」以外の場合は⑫から再度設置日登録を行ってください。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">・設置日登録は、取付作業時以外に行わないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・設置日登録は必ず行ってください。設置日登録を行わないと適切でないタイミングでフィルタ交換お知らせランプが点灯する可能性があります。

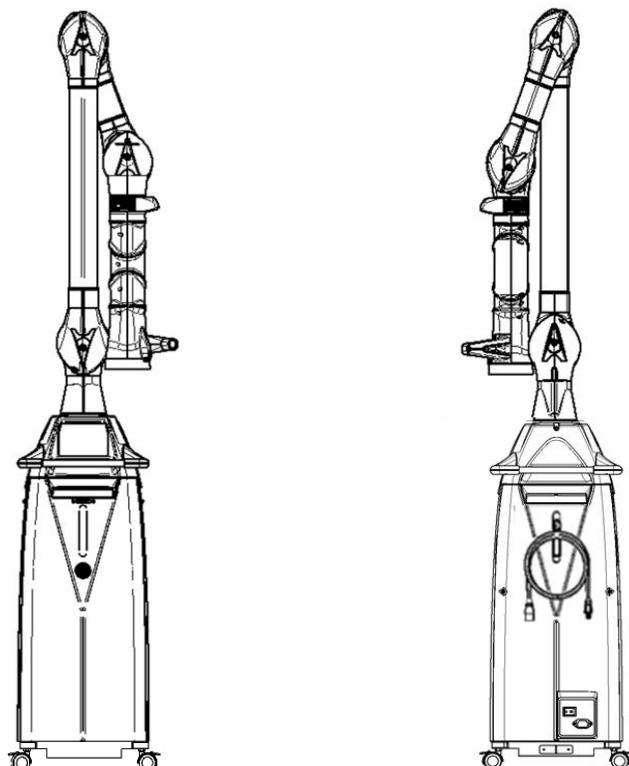
⚠ 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドル以外の箇所を押して移動しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ・患者が LED ライト及びセンサースイッチを直視しないようにしてください。 ・電源プラグを奥まで確実に挿し込んでください。 ・電擊の危険を回避するためアースを接続してください。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・誤吸引防止のため、吸引口付近に物を近づけないでください。 ・フードを持って操作しないでください。 ・フードを外しての使用はしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ・アームを患者の口元に近づける際、患者へ接触しないように注意してください。 ・グリップカバー及びフードの装着は確実(軽く引っ張り、外れない事を確認)に行ってください。 ・チェアを上下させる時は、本製品を患者、無影灯、チェア、チェアテーブル等に接触しないように注意してください。 ・アースを接続してください。 (アースが接続されていないと、静電気による誤作動(停止)が発生しやすくなります) ・移動完了後は装置が移動しないようにキャスター停止器をかけてください。

【機器の移動】



- ①本体電源スイッチは「切」、電源コードは本体、コンセントから外れていることを確認してください。
- ②上図のようにアームをたたんでください。
- ③取り外した電源コードはケーブルフックに収納してください。
- ④本体のキャスター停止器を解除してください。
- ⑤移動の準備が整ったら、前後のハンドルを両手で掴んで機器を所定位置まで移動させてください。
- ⑥上図は当社が定めた移動姿勢です。移動時は必ず上図の状態で移動させてください。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">電源コードを挿し込んだまま移動させないでください。アームを掴んで移動させないでください。(転倒する恐れがあります)
 指示	<ul style="list-style-type: none">本体電源スイッチを「切」にしてから移動させてください。移動時はキャスター停止バーを解除し、前後のハンドルを両手で掴むようにしてください。(転倒の恐れがあります)必ずアームをたたんだ状態で移動させてください。(転倒の恐れがあります)移動時は他の機器、患者及び壁や周囲のもの等に接触しないように充分注意してください。Lフードの場合、アームをたたんだ際にハンドルにぶつからないように注意してください。(Lフードが破損する恐れあり)当社が定めた移動姿勢で移動させてください。

【準備】

- ①本装置を移動させる場合は本取扱説明書 P. 21 使用方法の「機器の移動」を参照してください。
- ②移動完了後は装置が移動しないようにキャスター停止バーをかけてください。
- ③アーム部の支持が安定していることを確認してください。
- ④フードが正しく装着されていることを確認してください。
- ⑤インレットプラグを本体に接続、電源コードの3Pプラグを単相交流100V・定格電流値15A以上の専用アース付きコンセントに接続してください。
- ⑥本体電源スイッチを「入」にしてください。

【診療開始(一日の始まり)】

- ①本体電源スイッチが「入」の状態で操作パネル電源スイッチを押すと、操作パネル上の「SUCTION MODE」及び「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「T」の対応したボリュームが点灯(緑)し、待機状態になります。
※もう一度操作パネル電源スイッチを押すと、操作パネルがOFFになります。
- ②操作パネル上の「SUCTION MODE」及び「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「T」の対応したボリュームが点灯(緑)している時は、アームのセンサースイッチが使用出来る状態です。
- ③サクションモードは風量の調整をすることができます。サクションモードの状態で調整スイッチ「+」を押す毎に風量が増加します。調整スイッチ「-」を押す毎に風量が低下します。(最小「1」～最大「T」6段階の設定が可能)。TURBOを押すと、風量が最大になります。もう一度TURBOを押すと元の風量に戻ります。
操作パネル上の「SUCTION MODE」及び「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「T」の対応したボリュームが点灯(緑)している時に「MODE CHANGE」スイッチを押すことで「CLEANING MODE」に切り替えることができます。

使用方法

【歯科治療の開始(患者ごと)】

- ①歯科治療の開始前に本装置を移動させる場合は本取扱説明書説明書 P. 21 使用方法の「機器の移動」を参照してください。移動後はキャスター停止器をかけてください。

⚠ 注意



- ・移動完了後は装置が移動しないようにキャスター停止器をかけてください。

- ②アームのグリップにグリップカバーを取り付けてください。

グリップカバーの取り付け方法に関しては本取扱説明書 P. 29 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)の「グリップカバー」を参照してください。

- ③アームにフードを取り付けてください。

フードの取り付け方法に関しては本取扱説明書 P. 28 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)の「フード(Nフード・Lフード)」を参照してください。

フードはNフード、Lフードの2種類あり、それぞれ仕様を3パターンに変更することができます。

仕様の変更方法に関しては本取扱説明書 P. 26~27 使用方法の「フードの仕様に関して」を参照してください。

- ④グリップを持ちアームを患者の口元に近づけてください。目安としては口元から約10cmです。

※先端位置の微調整は、グリップを持って行ってください。

- ⑤センサースイッチの垂直面上約5cmに手をかざすと吸引及びLEDライトがONになり、歯科治療における高速切削等により口腔外に飛散する飛沫の除去が可能になります。

吸引のみを使用したい場合は本取扱説明書 P. 25 使用方法の「センサースイッチで吸引のみをONにしたい場合(LEDライトが不要な場合)」を参照してください。

LEDライトのみを使用したい場合は本取扱説明書 P. 25 使用方法の「LEDライトのみをONにしたい場合(吸引が不要な場合)」を参照してください。

⚠ 注意



- ・センサーに手をかざしてON/OFFする際、手を離してから再度手をかざすまでの時間が短すぎるとセンサーが反応できないことがありますので注意してください。

【歯科治療の一時停止】

- ①センサースイッチの垂直面上約5cmに手をかざし、吸引及びLEDライトをOFFにしてください。

- ②グリップを持ちアームを患者の口元から遠ざけて、アームを収納しP. 21の姿勢してください。

⚠ 注意



- ・接触防止のため、アームは患者に触れない位置まで遠ざけてください。

使用方法

【歯科治療の再開】

- ①グリップを持ちアームを患者の口元に近づけてください。
- ②センサースイッチの垂直面上約5cmに手をかざし、吸引及びLEDライトをONにし、治療を再開してください。

【歯科治療の終了(患者ごと)】

- ①センサースイッチの垂直面上約5cmに手をかざし、吸引及びLEDライトをOFFにしてください。
- ②グリップを持ちアームを患者の口元から遠ざけ、収納状態として、治療を終了してください。
- ③アームからフードを取り外してください。
フードの取り外し方法に関しては本取扱説明書 P.28 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)の「フード(Nフード・Lフード)」を参照してください。
- ④グリップからグリップカバーを取り外してください。
グリップカバーの取り外し方法に関しては本取扱説明書 P.29 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)の「グリップカバー」を参照してください。
- ⑤フードとグリップカバーの清掃を行ってください。
清掃に関しては本取扱説明書 P.39 清掃方法の「フード(Nフード・Lフード)」及び「グリップカバー」を参照してください。

⚠ 注意

 禁止	・破損の恐れがあるため、フードは落下等の衝撃を加えないでください。
 指示	・感染防止のため、グローブを着用して脱着作業を行ってください。

【クリーニングモード使用時】

- ①サクションモード時に「MODE CHANGE」スイッチを押すことで「CLEANING MODE」に切り替えることができます。
- ②操作パネル上の「CLEANING MODE」及び「0.5h」、「1h」、「1.5h」、「2h」いずれかが点灯(青)している時は、クリーニングモードが作動している状態です。
- ③クリーニングモードはタイマーの設定時間を変更することができます。クリーニングモードの状態で調整スイッチ「+」を押す毎にタイマー設定時間が0.5h増加します。調整スイッチ「-」を押す毎にタイマー設定時間が0.5h減少します。(最小「0.5h」～最大「2h」4段階の設定が可能)
※操作パネル上の「CLEANING MODE」及び「0.5h」、「1h」、「1.5h」、「2h」いずれかが点灯(青)している時に「MODE CHANGE」スイッチを押すことで「SUCTION MODE」に切り替えることができます。
※クリーニングモード時にはアームセンサー機能、アームLED機能が無効になります。

【診療終了(一日の終わり)】

- 本体電源スイッチを「切」にし、電源コードのプラグを本体、コンセントから外してください。電源コードはケーブルフックに収納してください。

【長期間使用しない場合】

- ・電源コードを本体、コンセントから外してください。

使用方法

【患者に使用中に保守、点検してはならない部分】

- ・本装置は患者に使用中に保守、点検をしないで下さい。

⚠ 警告



- ・本装置は患者に使用中に保守、点検をしないでください。

⚠ 注意



- ・設備側の電源や電源プラグの近くに物を置かないでください。
- ・感電防止のため、濡れた手で設備側の電源やコンセント、操作パネル、電源プラグを触らないでください。

○センサースイッチで吸引のみをONにしたい場合(LEDライトが不要な場合)

- ①センサースイッチの垂直面上約5cmに手を差し出し、吸引及びLEDライトをONにして下さい。
- ②吸引動作中にLEDライトスイッチを押すことで、LEDライトが消灯し、吸引とLEDの連動状態が解除されます。
※吸引とLEDライトの連動状態が解除された状態で、吸引をOFFになると次からの吸引ON動作もLEDライトは消灯したままの状態で動作します。
- 再び吸引とLEDライトを連動動作にしたい場合、吸引中にLEDライトスイッチを押すことで、吸引とLEDが再度連動状態になります。

⚠ 注意



- ・誤吸引防止のため、吸引口付近に物を近づけないでください。



- ・LEDライトスイッチを押す際はカチッと音が鳴るまで、ゆっくり押してください。
以下のことを行うとスイッチが反応できないことがありますので注意してください。
①LEDライトスイッチを押しこむ時間が短すぎる。
②LEDライトスイッチを押し込む量が少なすぎる。
③ハンドル操作中やハンドルに強い力を加えたままLEDライトスイッチを押す。

○LEDライトのみをONにしたい場合(吸引が不要な場合)

- ①センサースイッチは使用せず、LEDライトスイッチを押し、LEDライトを点灯させて下さい。
※吸引停止時のLEDライトON/OFF操作では、吸引とLEDの連動状態は変化しません。

○アームセンサーを用いないで吸引させる場合

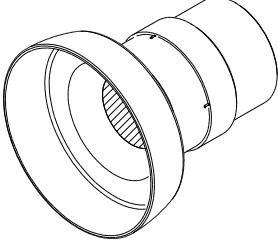
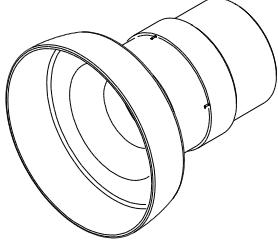
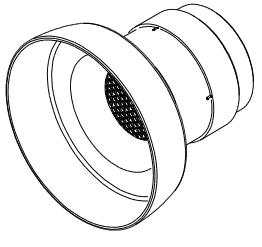
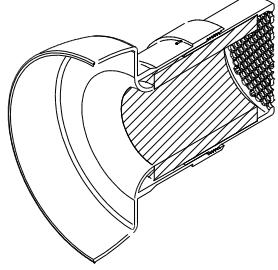
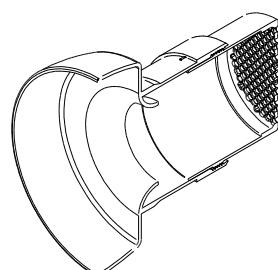
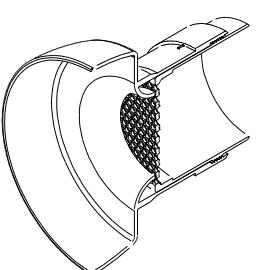
- ①操作パネル電源スイッチを3秒長押ししてください。サクションモード設定時の風量で運転します。
※操作パネル電源スイッチ長押しで運転させた場合、アームセンサー機能は無効になります。
- ②アームセンサー有効時と同様に風量の調整をすることができます。調整スイッチ「+」を押す毎に風量が増加します。調整スイッチ「-」を押す毎に風量が低下します。(最小「1」～最大「T」6段階の設定が可能) TURBOを押すと、風量が最大になります。もう一度TURBOを押すと元の風量に戻ります。
- ③操作パネル電源スイッチを押すことで吸引が停止します。
※吸引を停止させる場合は操作パネル電源スイッチを長押しではなく一回押してください。

使用方法

○フードの仕様について

Nフード、Lフード共に仕様が3パターンあり、変更することが可能です。

※NフードとLフードは共通の仕様です。

	標準仕様 (サイレントフィルタ有)	標準仕様 (サイレントフィルタ無)	フロントメッシュ仕様
外観図			
断面図			
特徴	最も消音効果があります。	標準仕様(サイレントフィルタ有)までの効果は得られませんが、動作音の緩和効果があります。	メッシュに引っかかった異物や切削物の清掃が容易です。サイレントフィルタを取り付ける事は出来ません。

●フード組立方法

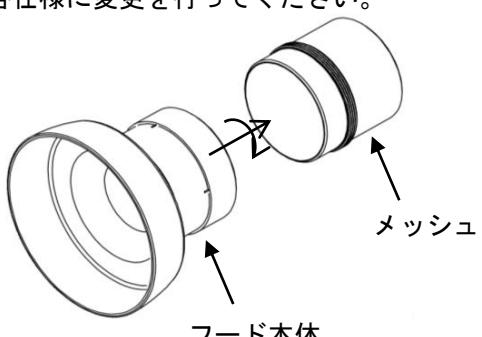
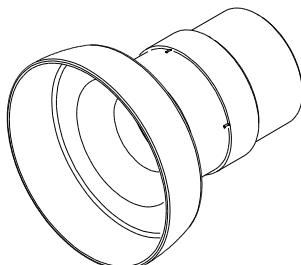
⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"> メッシュとフード本体の締め込みが緩いままでアームに装着するとフードがアームから脱落する恐れがあります。メッシュはフード本体の奥に突き当たるまで確実に締め込み、奥に突き当たってからは無理に回さないでください。メッシュやフード本体の破損の原因にもなります。 フロントメッシュ仕様でサイレントフィルタを使用しないでください。吸引をONにした際にサイレントフィルタが外れてしまい、吸引力の低下やサイレントフィルタの破損の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 一度でも治療にて使用したフードで本作業を行う場合、感染防止のためグローブを着用してください。

製品出荷時は標準仕様(サイレントフィルタ無)になっています。

フード本体とメッシュを以下の図のように外してから各仕様に変更を行ってください。

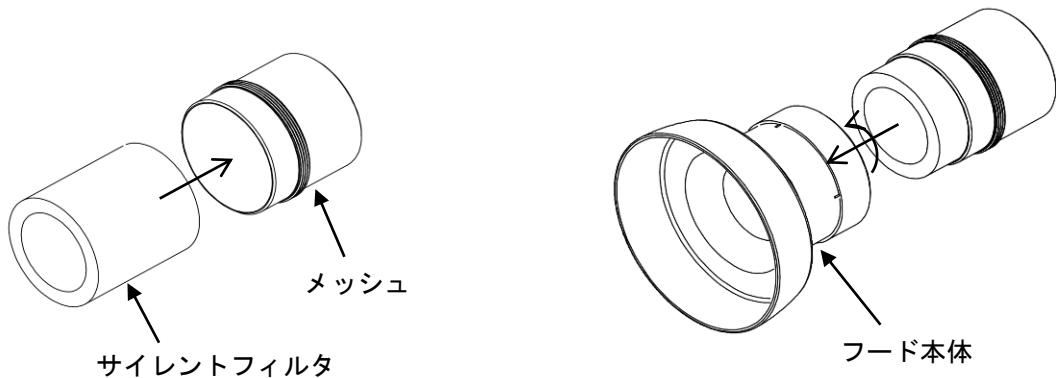
メッシュはネジ式になっています。



使用方法

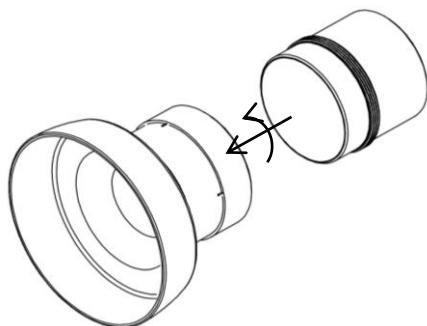
◆標準仕様(サイレントフィルタ有)

- ①メッシュにサイレントフィルタを挿入してください。
- ②メッシュをフード本体に取り付けてください。



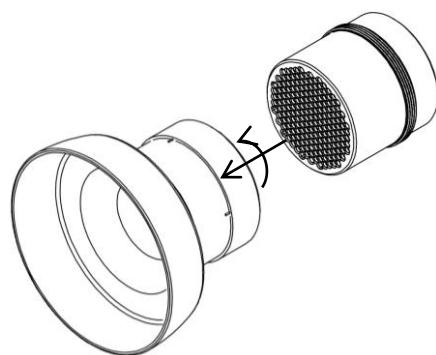
◆標準仕様(サイレントフィルタ無)

- ①メッシュが後ろを向く形でフード本体に取り付けてください。



◆フロントメッシュ仕様

- ①メッシュが前を向く形でフード本体に取り付けてください。



着脱可能な部品(消耗品)

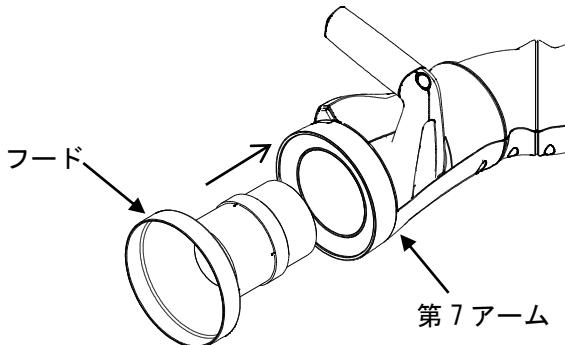
- ・フード(Nフード・Lフード)
- ・グリップカバー
- ・サイレントフィルタ
- ・クリーンフィルタ
- ・スーパーバイオフィルタ

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

●フード(Nフード・Lフード)

【取り付け】

- ①フードを第7アーム先端へ差し込んでください。
- ②カチッと音がして、ロックされるまで押し込んでください。
フードは90°ごとの位置決めがあります。
- ③フードが外れない事を確認してからご使用ください。



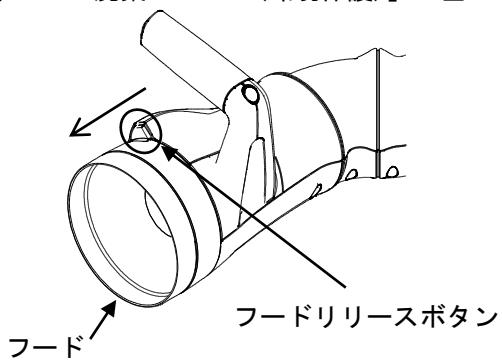
⚠ 注意



- ・フードを軽く引っ張り、外れない事を確認してください。

【取り外し】

- ①フードを第7アームまで押し込みフードリリースボタンを押しながら、フードを持ち取り外してください。
- ②治療に使用したフードは清掃作業を行ってください。
清掃作業に関しては本取扱説明書P.39 清掃方法の「フード(Nフード・Lフード)」を参照してください。
※フードは消耗品のため、繰り返し使用することによって徐々に劣化していきます。
廃棄の際は、本取扱説明書P.8 「廃棄について(環境保護)」に基づいて処理してください。



⚠ 注意



- ・破損の恐れがあるため、フードは落下等の衝撃を加えないでください。



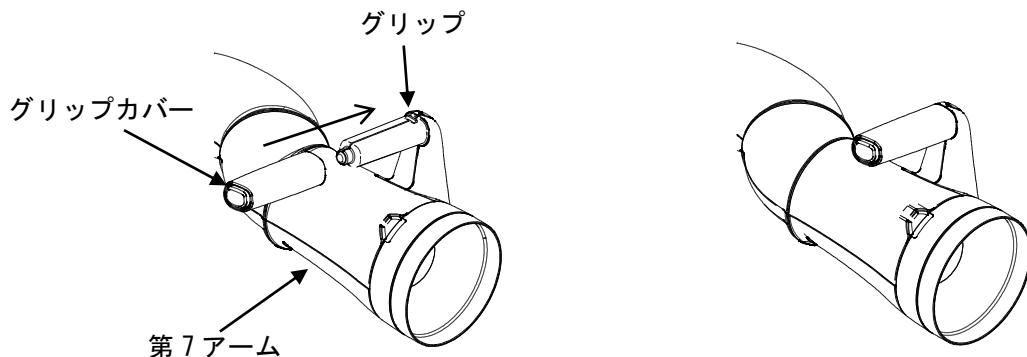
- ・感染防止のため、グローブを着用して行ってください。

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

●グリップカバー

【取り付け】

- ①第7アームを抑えながらグリップカバーをグリップに対して水平に差し込んでください。
- ②グリップカバーを軽く引っ張り抜けないことを確認の上、ご使用ください。



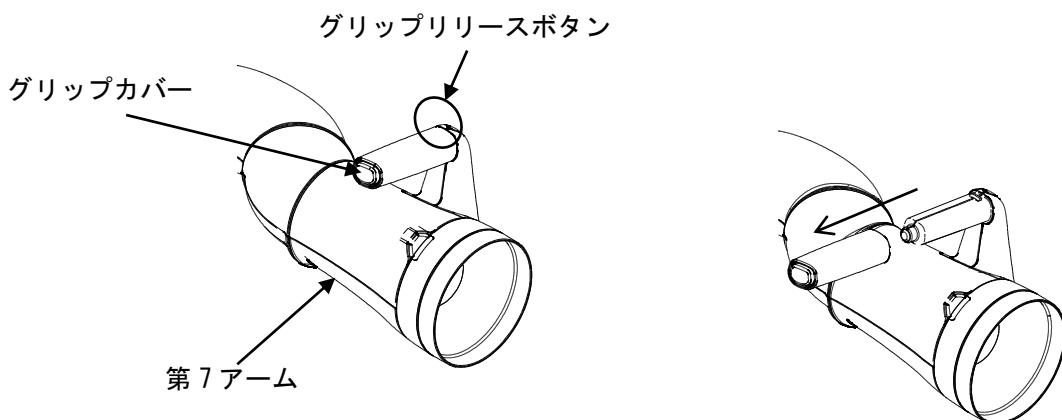
⚠ 注意



- ・グリップカバーを軽く引っ張り、外れない事を確認してください。

【取り外し】

- ①第7アームを抑えながらグリップリリースボタンを押し、グリップカバーを引き抜いてください。
- ②治療に使用したグリップカバーは清掃作業を行ってください。
清掃作業に関しては本取扱説明書 P. 39 清掃方法の「グリップカバー」を参照してください。
- ※グリップカバーは消耗品のため、繰り返し使用することによって徐々に劣化していきます。
廃棄の際は、本取扱説明書 P. 8 「廃棄について(環境保護)」に基づいて処理してください。



⚠ 注意



- ・感染防止のため、グローブを着用して行ってください。

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

●サイレントフィルタ

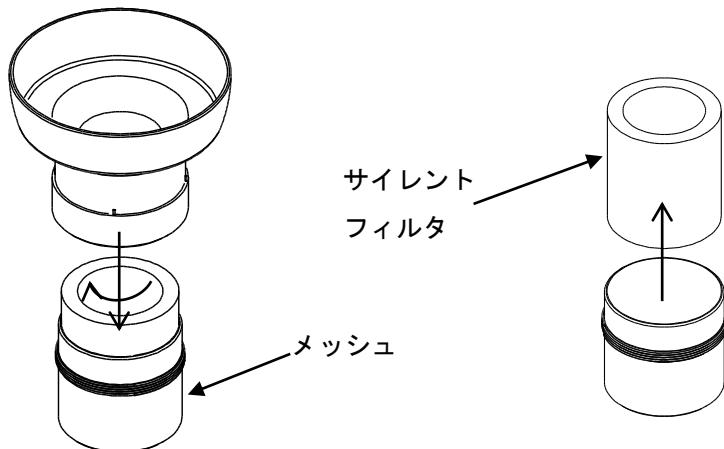
※サイレントフィルタはフードが標準仕様(サイレントフィルタ有)の時のみ使用可能です。

【取り付け】

装着に関しては本取扱説明書 P. 26～P. 27 使用方法の「フード組立方法」を参照ください。

【取り外し】

- ①本取扱説明書 P. 28 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)の「フード(N フード・L フード)」を参照し、第 7 アームからフードを取り外してください。
- ②サイレントフィルタの落下が無いよう、メッシュ側を下向きにして、メッシュを取り外してください。
メッシュはネジ式になっています。
- ③メッシュに付いているサイレントフィルタを取り外してください。
- ④交換し終わったサイレントフィルタは、本取扱説明書 P. 8 「廃棄について(環境保護)」に基づいて処理してください。



⚠ 注意

 禁止	・破損の恐れがあるため、フードは落下等の衝撃を加えないでください。
 指示	・感染防止のため、グローブを着用して行ってください。

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

●クリーンフィルタ

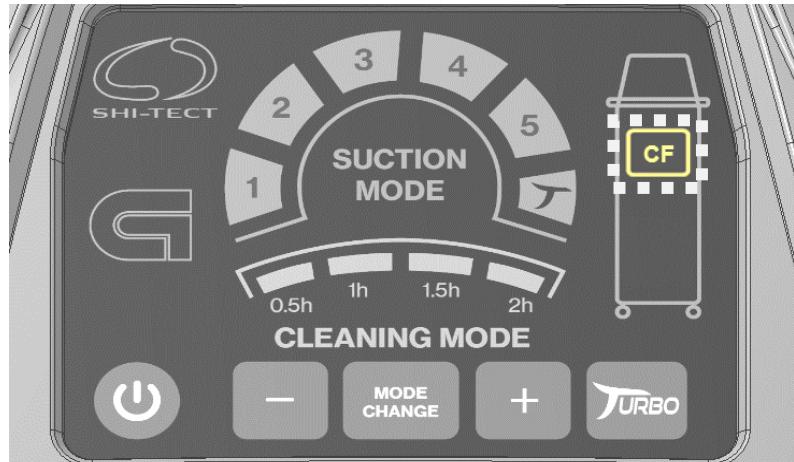
⚠ 警告

	・メンテナンスパネルは着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)に記載のある保守作業時以外取り外さないでください。
	・本体電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

⚠ 注意

	・感染防止のため、グローブを着用して行ってください。 ・フィルタ内容物が散らばらないように注意してください。 ・フロントカバーは奥まで押し込み、ロックが確実にかかっていることを確認してください。
---	---

①操作パネル上の「CF」交換お知らせが点灯したらクリーンフィルタを交換してください。

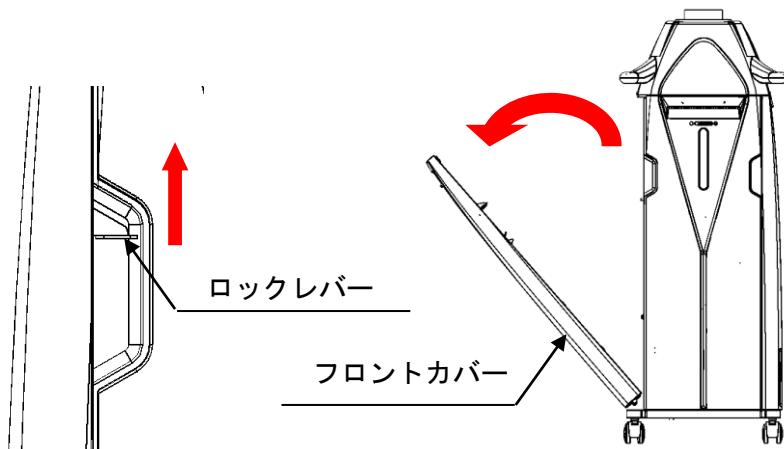


【ランプが点灯していない時の交換】

※お知らせランプ点灯前に性能が低下した場合、フィルタ目詰まりの可能性があります。以下項目②～⑩を実施してください。

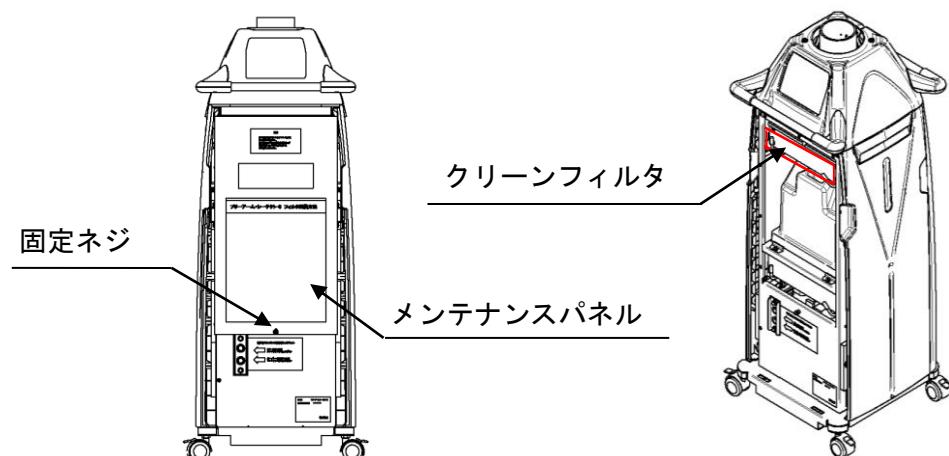
②本体電源スイッチを「切」してください。

③左右のロックレバーを同時に持ち上げ、フロントカバーを取り外してください。

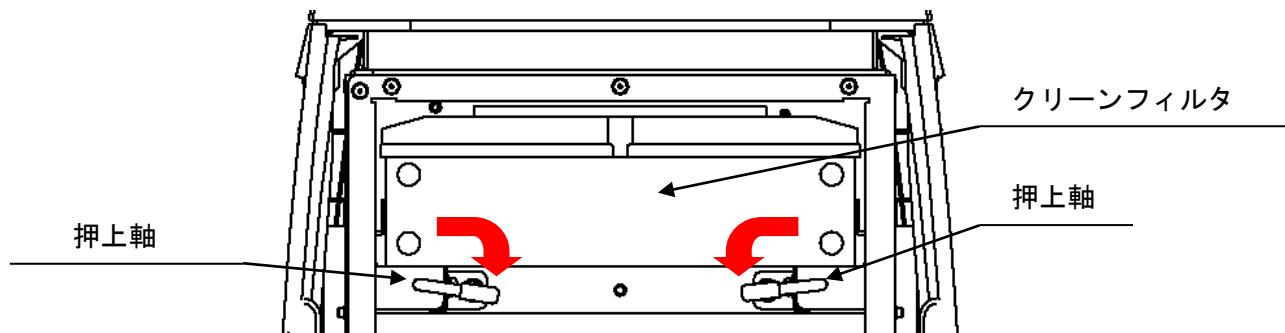


着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

④プラスドライバーを用いて、メンテナンスパネル固定ネジを外し、取っ手を持ち、上にスライドしながら外してください。



⑤内部にある押上軸を倒し、クリーンフィルタを取り外してください。

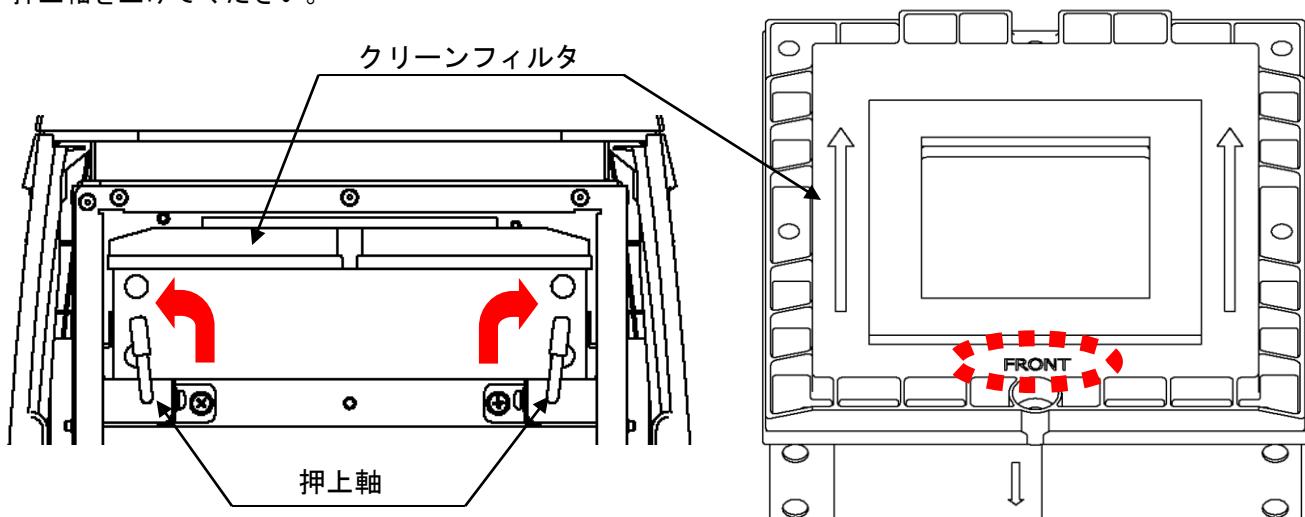


⚠ 注意



・両手でフィルタを保持しながら取り外してください。

⑥新しいクリーンフィルタを上面の「FRONT」の文字が正面になるようセットし、奥まで押し込んだことを確認し、押上軸を上げてください。



着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

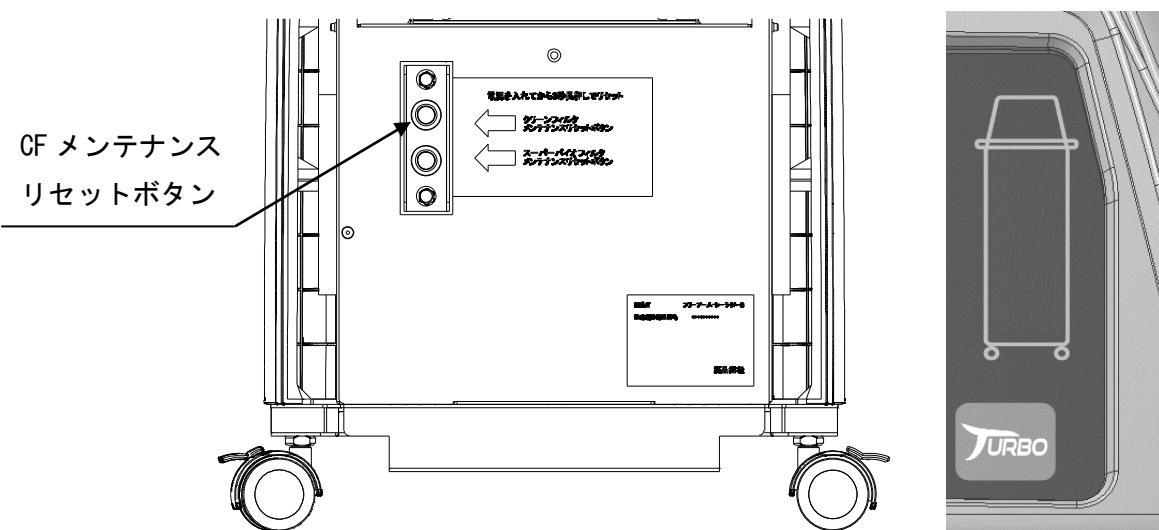
⑦メンテナンスパネルを閉め、プラスドライバーを用いて④と同様箇所をネジ固定してください。
押上軸によるクリーンフィルタの固定が確実ではない場合、メンテナンスパネルを閉めることができません。

⚠ 注意



- メンテナンスパネルは固定ネジを用いて必ず固定してください。

⑧本体電源スイッチと操作パネル電源スイッチを入れてから CF メンテナヌリセットボタンを 3 秒間長押し後、
ピピッというブザー音が鳴り、操作パネルから「CF」交換お知らせの点灯が消えていることを確認してください。



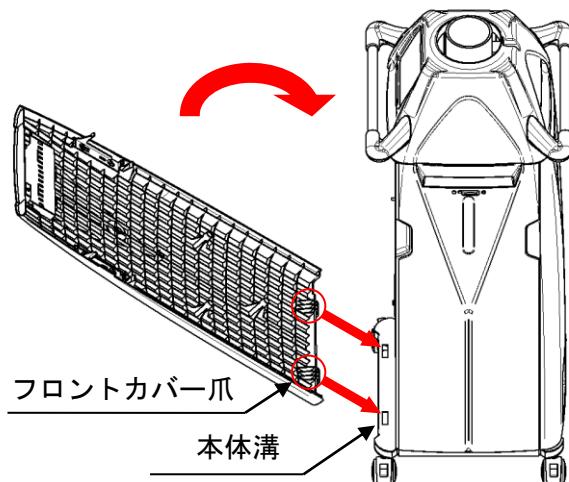
⚠ 注意



- メンテナヌリセットボタンの押し間違えに注意してください。

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

⑨本体下部にある溝にフロントカバーの爪を差し込み、本体側へと倒し、フロントカバーを取付けてください。



⑩交換し終わったクリーンフィルタは本取扱説明書 P. 8『廃棄について』に基づいて処理してください。

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

●スーパーバイオフィルタ

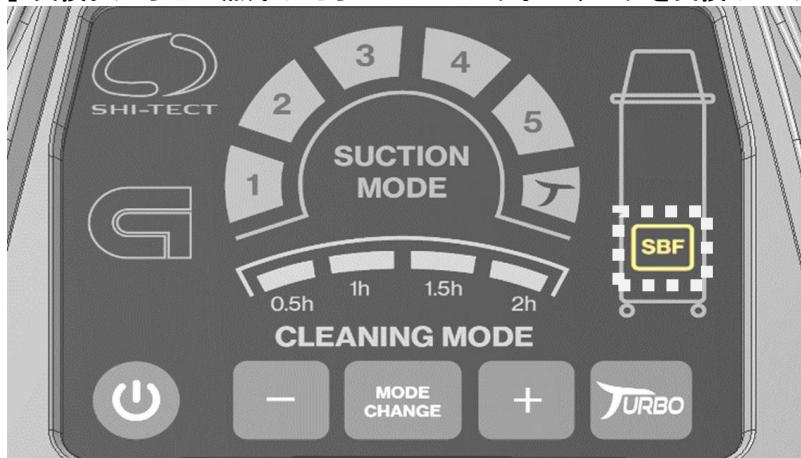
⚠ 警告

 禁止	・メンテナンスパネルは着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)に記載のある保守作業時以外取り外さないでください。
 指示	・本体電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

⚠ 注意

 指示	・感染防止のため、グローブを着用して行ってください。 ・フィルタ内容物が散らばらないように注意してください。 ・フロントカバーは奥まで押し込み、ロックが確実にかかっていることを確認してください。
---	---

①操作パネル上の「SBF」交換お知らせが点灯したらスーパーバイオフィルタを交換してください。

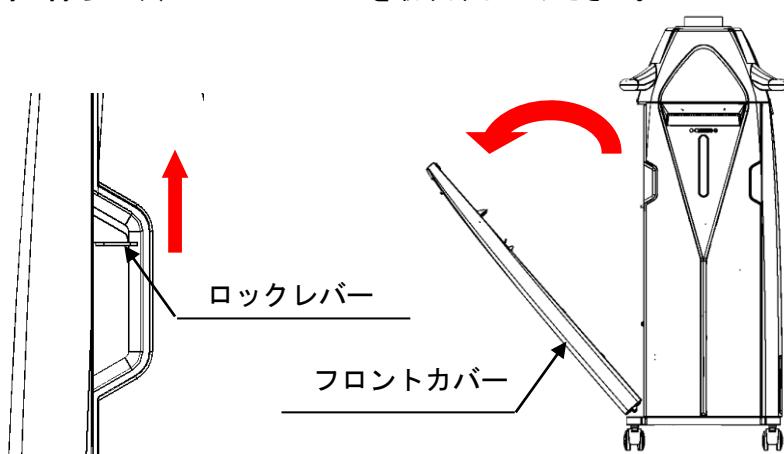


【ランプが点灯していない時の交換】

※お知らせランプ点灯前に性能が低下した場合、フィルタ目詰まりの可能性があります。以下項目②～⑩を実施してください。

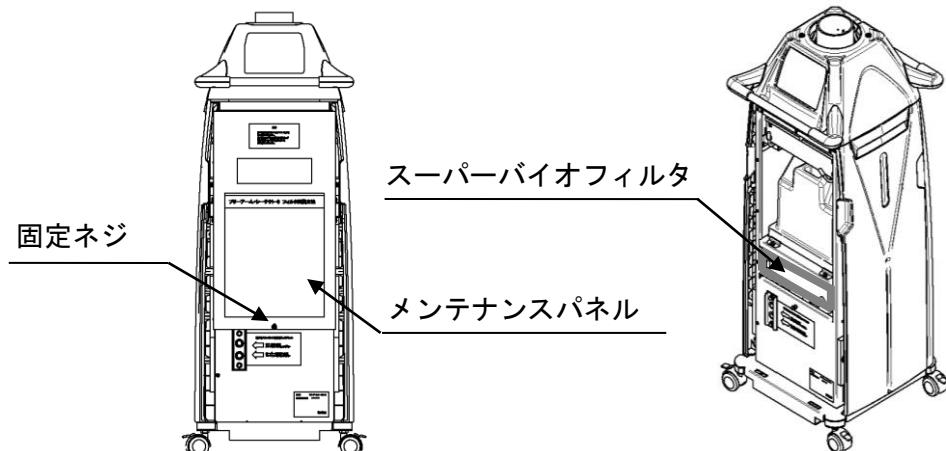
②本体電源スイッチを「切」にしてください。

③左右のロックレバーを同時に持ち上げ、フロントカバーを取り外してください。

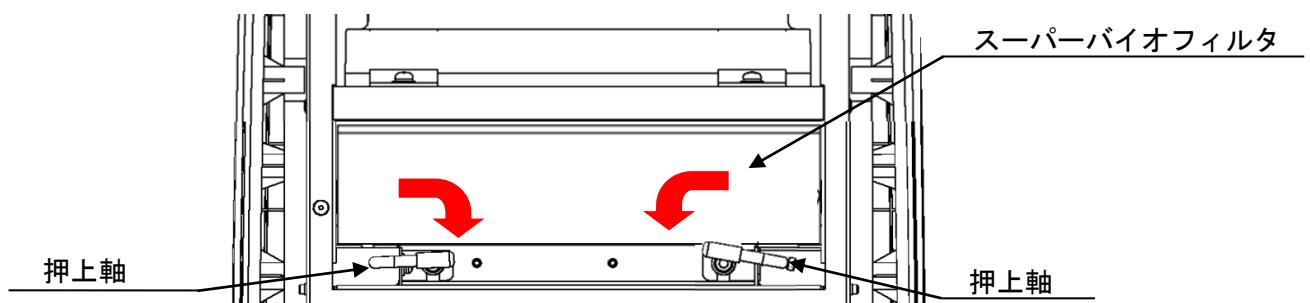


着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

④プラスドライバーを用いて、メンテナンスパネル固定ネジを外し、取っ手を持ち、上にスライドしながら外してください。



⑤内部にある押上軸を倒し、スーパーバイオフィルタを取り外してください。

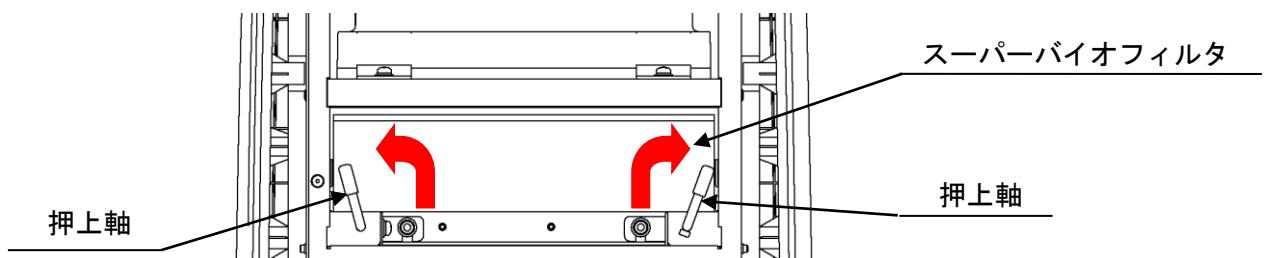


⚠ 注意



・両手でフィルタを保持しながら取り外してください。

⑥新しいスーパーバイオフィルタはパッキンがある面を上にしてセットし、奥まで押し込んだことを確認し、押上軸を上げてください。



着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

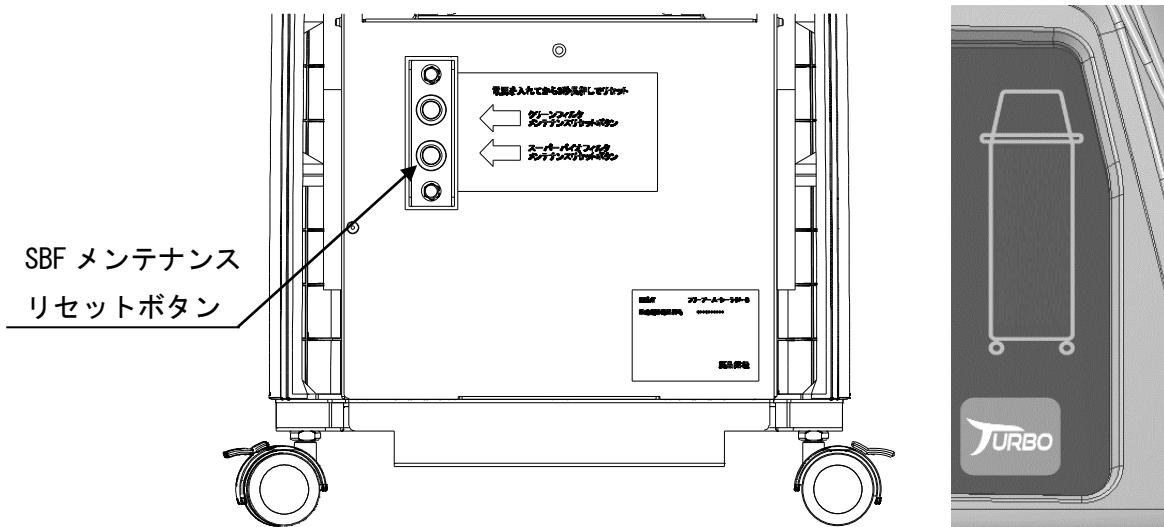
⑦メンテナンスパネルを閉め、プラスドライバーを用いて④と同様箇所をネジ固定してください。
押上軸によるスーパーバイオフィルタの固定が確実ではない場合、メンテナンスパネルを閉めることができません。

⚠ 注意



- メンテナンスパネルは固定ネジを用いて必ず固定してください。

⑧本体電源スイッチと操作パネル電源スイッチを入れてから SBF メンテナスリセットボタンを 3 秒間長押し後、
ピピッというブザー音が鳴り、操作パネルから「SBF」交換お知らせの点灯が消えていることを確認してください。



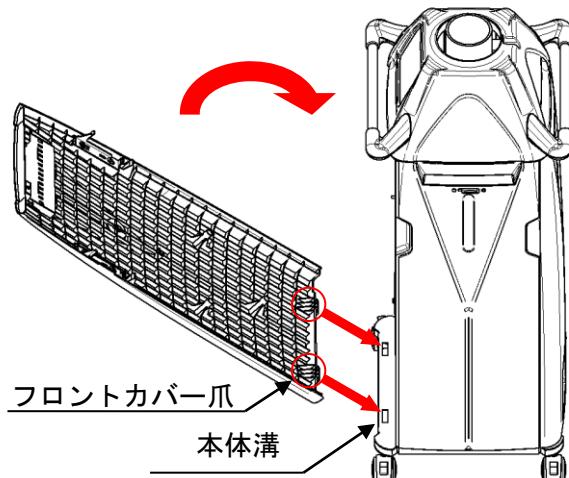
⚠ 注意



- メンテナスリセットボタンの押し間違えに注意してください。

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

⑨本体下部にある溝にフロントカバーの爪を差し込み、本体側へと倒し、フロントカバーを取付けてください。



⑩交換し終わったスーパーバイオフィルタは本取扱説明書 P. 8 『廃棄について』に基づいて処理してください。

⚠ 禁忌・禁止

 禁止	・当社指定の除菌スプレー以外の有機溶剤、火気類、水等は吸引しないでください。
 指示	・感染防止のため、グローブを着用して行ってください。

●フード(Nフード・Lフード)

- ・フリーアーム・クリーニングシートを使用して清掃、又はオートクレーブ滅菌のような衛生処置を実施してください。

●グリップカバー

- ・フリーアーム・クリーニングシートを使用して清掃、又はオートクレーブ滅菌のような衛生処置を実施してください。

●装置外観

- ・フリーアーム・クリーニングシートや水、中性洗剤等を少量含ませた布で軽く拭いてください。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の方法による清掃はしないでください。 ・センサースイッチや操作パネル部に押し込むような力を加えないでください。 ・フード及びグリップカバーをオートクレーブ滅菌する際に 121°Cより高い乾燥工程は行わないでください。 ・温度制御ができない乾燥工程は行かないでください。 ・オートクレーブ滅菌後は十分冷却されるまで力を加えないでください。 ・フード及びグリップカバーに超音波洗浄を使用しないでください。 (ヒビ割れ、フード外れなどの破損の原因となります) ・フリーアーム・クリーニングシートはセンサースイッチに使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ・フード・グリップカバー及び装置の清掃時は、感電防止及び誤吸引防止のため、必ず本体電源スイッチを「切」にしてから行ってください。 ・フード及びグリップカバーの洗浄・消毒に薬剤を用いる場合には、ヒビ割れ、フード外れなどの破損となる場合があるため、薬剤の注意事項を確認してください。 ・フード及びグリップカバーをオートクレーブ滅菌する際は 121°C以下で実施してください。 (フード及びグリップカバーのオートクレーブ滅菌の耐用回数は約 30 回です)

※フード・グリップカバーはオートクレーブ滅菌を繰り返すことにより、色味に若干の変化が発生することがあります。

●吸引管路内部

- ・クリーニングモードを使用してください。
適切なタイミング(休憩時間等)で作動させてください。

①フリーアーム・クリーニングシートを使用して清掃を行ってください。(フリーアーム・クリーニングシート外箱記載事項を参照)

⚠ 禁忌・禁止



禁止

- ・火気に近づけて使用しないでください。
主成分がエタノールのため、発火する恐れがあります。

⚠ 注意



禁止

- ・洗浄後に水等ですすぐことは止めてください。



指示

- ・感電防止及び誤吸引防止のため、本体電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

②フリーアーム・バブリライザー(別売品)にてアーム内部全体の除菌をしてください。(フリーアーム・バブリライザー取扱説明書参照)

日常点検・定期点検

日常点検(使用者による点検)

始業前	装置の外観構成品に異常がないことを確認	ヒビ・変形などがないかご確認ください。
患者ごと	フード(Nフード・Lフード)、 グリップカバーの清掃	本取扱説明書 P. 39「清掃方法」をご確認ください。
終業後	装置外観、吸引管路内部の清掃	本取扱説明書 P. 39~P. 40「清掃方法」をご確認ください。

定期点検(使用者による点検)

1年ごと	クリーンフィルタの交換	本取扱説明書の P. 31~34 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)をご確認ください。
3年ごと	スーパーバイオフィルタの交換	本取扱説明書の P. 35~38 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)をご確認ください。

異常が感じられた場合は、電源を遮断し、購入先または当社までご連絡ください。

仕様

型式	シーテクト-S
電源	単相交流 100V
電流	14A
周波数	50/60Hz
ヒューズ	交流 125V 15A B種溶断型
電擊に対する保護の形式	クラス I 機器
電擊に対する保護の程度による装着部の分類	装着部無し
作動モード	連続
水の浸入に対する保護の程度	IPX0
空気・可燃性麻醉ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻醉ガスのある中での使用の安全性の程度	空気・可燃性麻醉ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻醉中での使用に適しない機器

※記載された数値は保証値ではございません。

※仕様は予告なく変更する場合がございます。取付時はご確認ください。

アフターサービス

保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間は1年間です。

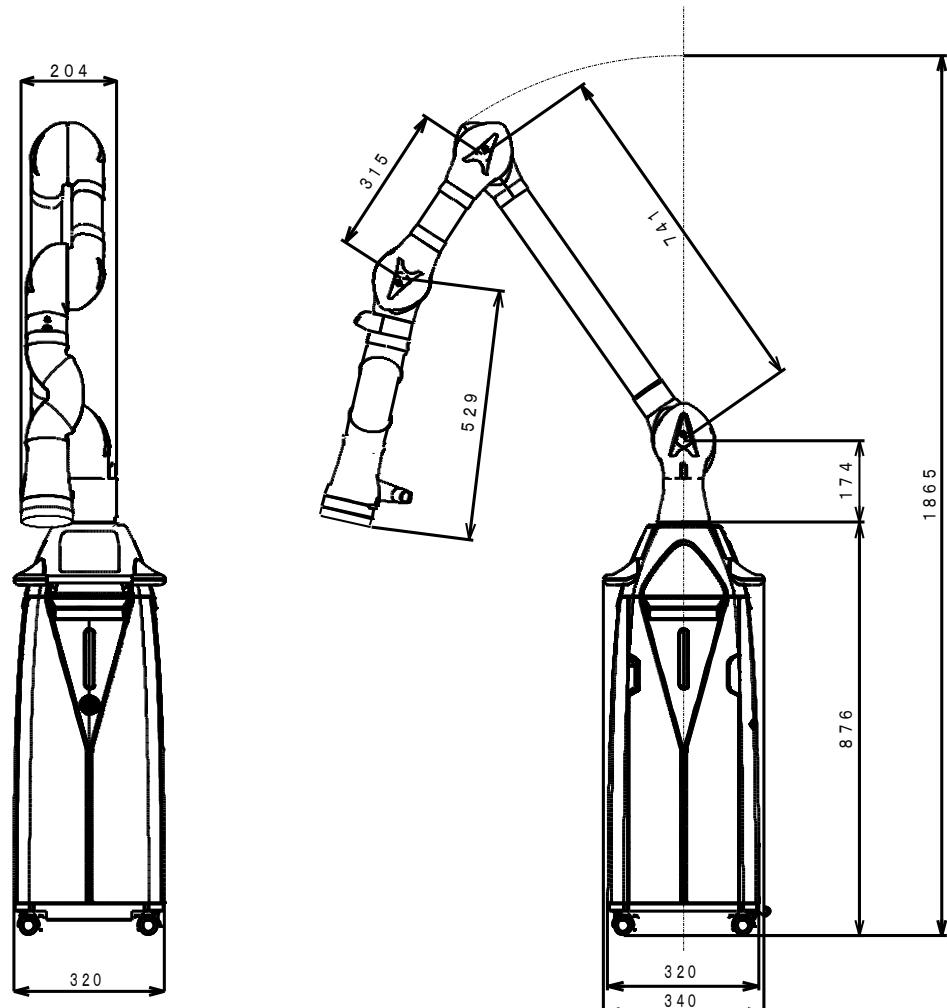
保証期間中の修理は保証書の記載内容により無償修理いたします。

保証期間経過後の修理は、購入先または当社までご相談ください。

○JIS T 5801 8.3

a) 吸引システムの各部品の外形寸法

●アーム、フード、本体



フードのメッシュ寸法 : $\phi 3\text{mm}$

b) 該当する場合、ベースプレート及び立ち上がり部の全寸法

該当せず

c) 配管立ち上がり部及び保持方法(ボルトなど)、電源供給部及びその他の供給配管に関する詳細

該当せず

d) 吸引システムの組立及び取り付けに関する情報

本取扱説明書 P. 17~20 「取付方法」を参照してください。

e) 電気的特性(電圧、周波数、ヒューズ定格)

本取扱説明書 P. 41 「仕様」を参照してください。

f) 吸引装置の清掃及び消毒方法、該当する場合には滅菌方法

本取扱説明書 P. 39~40 「清掃方法」を参照してください。

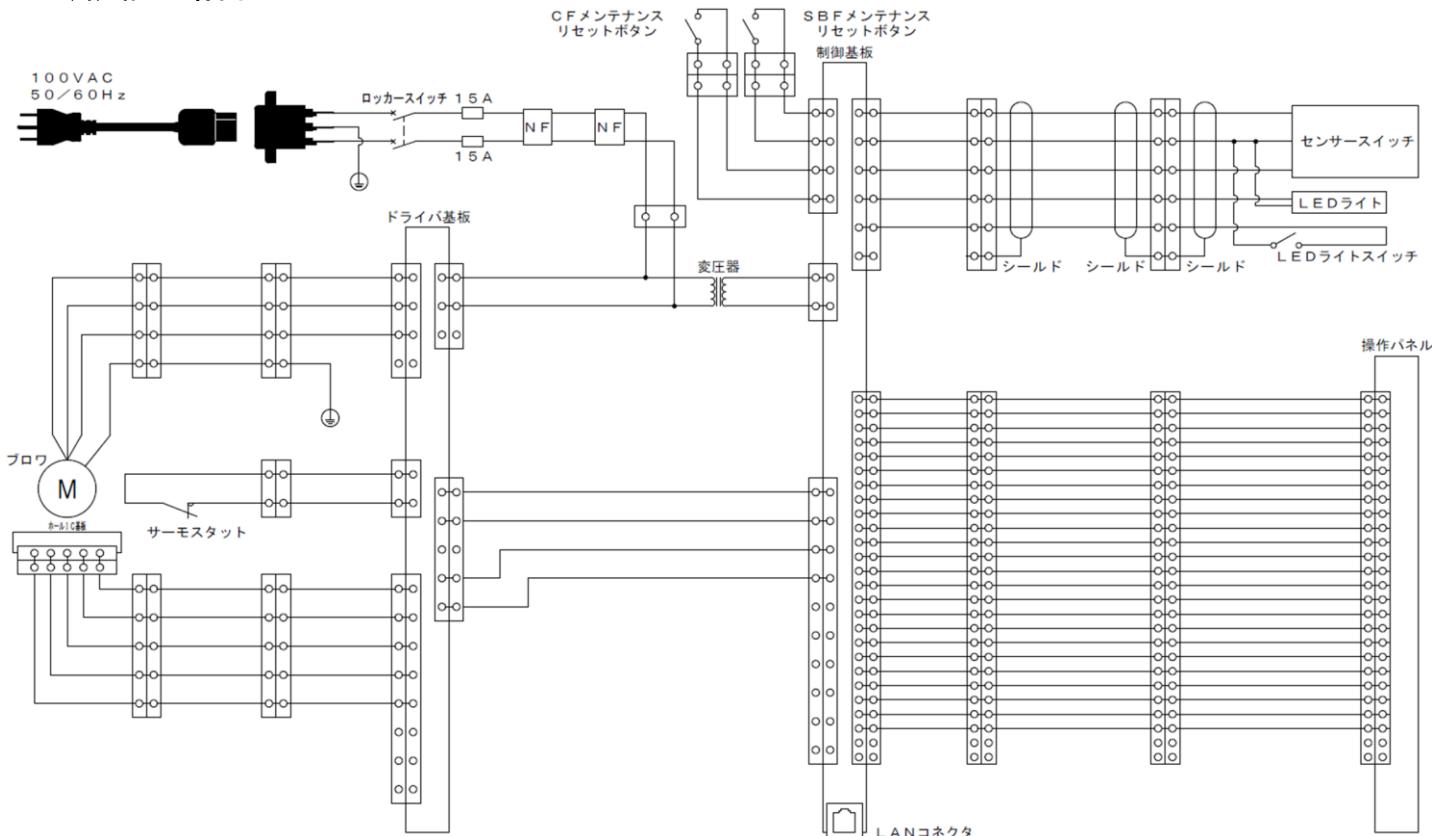
g) 吸引システム専用に設計された取付品

該当せず

h) 一般的使用で必要になると思われる予備部品のリスト

該当せず

i) 概略の配線図



j) 歯科診療室に吸引システムを設置するための注意事項及び推奨事項

キャスター停止バーをかけて使用してください。

k) 該当する場合、指定される最低圧力

該当せず

l) 吸引システムの吸引量(大容量、中容量)、適用部位 [口腔内用、口腔外用]、構造

(自立式、セントラル方式など)

口腔外、自立式

○その他

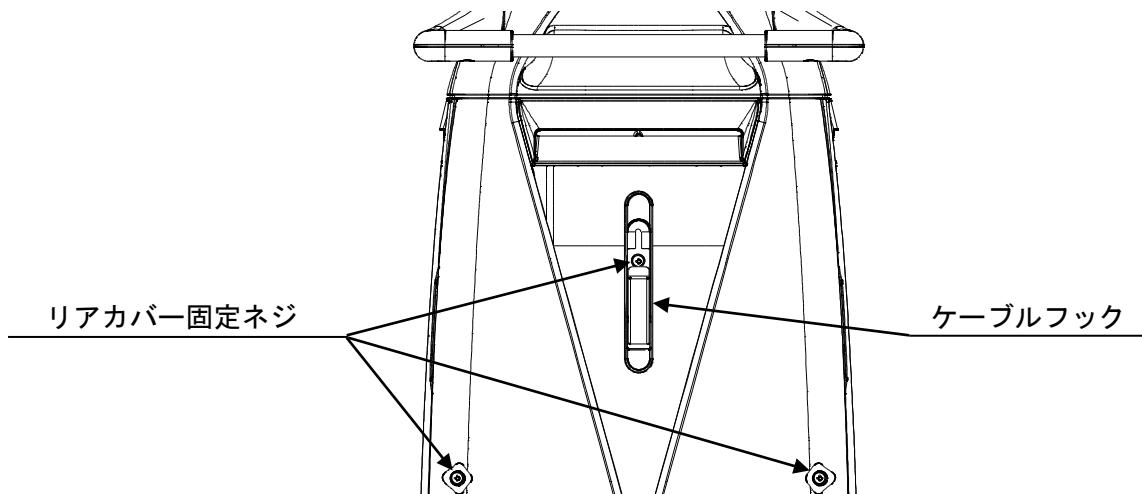
●ヒューズ(15A)の交換

※ヒューズの仕様は本取扱説明書 P. 41「仕様」を参照してください。

①本体電源スイッチを「切」にしてください。

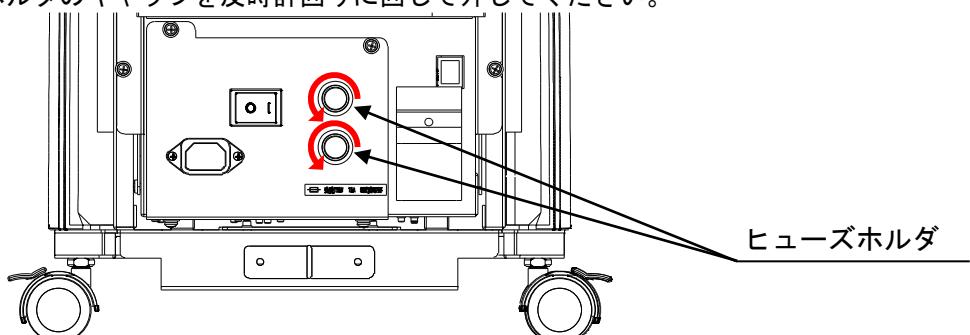
②電源コードの3Pプラグ(設備側)及びインレットプラグ(本体側)から外してください。

③ケーブルフックを倒し、リアカバーを固定しているネジ3点を外してください。



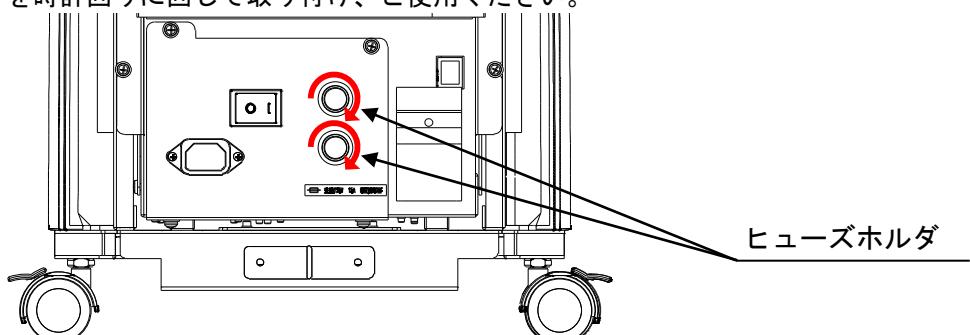
④リアカバーを外してください。

⑤本体下部にあるヒューズホルダのキャップを反時計回りに回して外してください。



⑥新しいヒューズ(15A)と交換してください。

⑦ヒューズホルダのキャップを時計回りに回して取り付け、ご使用ください。

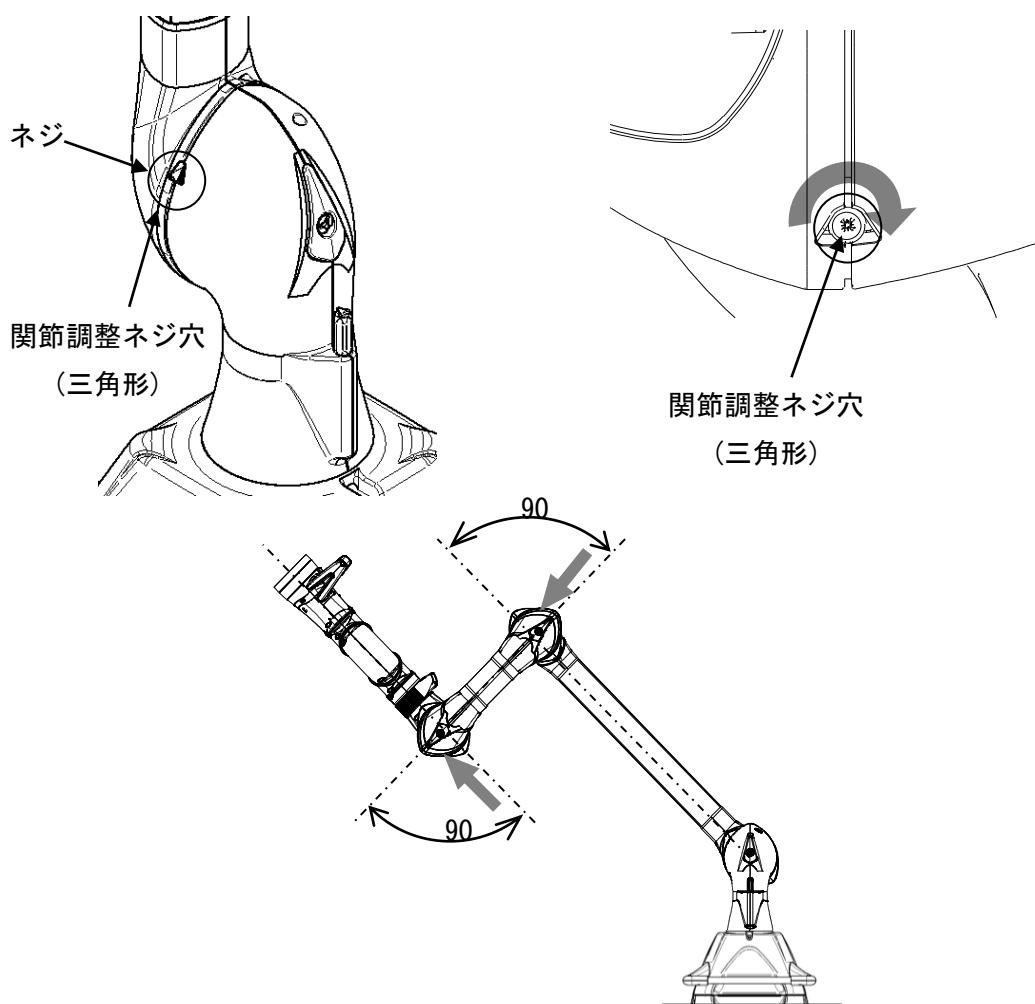


⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 専門の業者以外は、交換作業をしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> 感電防止のため、本体電源スイッチを「切」、電源コードを本体、コンセントから抜いてから作業を行ってください。 当社指定のヒューズをご使用ください。 ヒューズ容量を間違えないようにしてください。

●アームの関節の調整方法

- アームの関節が緩い場合、各関節で調整ができます。
第1関節はポールに対して180°、第2,3関節はそれぞれ90°、第4~7関節はカバーのつなぎ目を一致させると三角形の関節調整ネジ穴が一致します。
- ①本体電源スイッチを「切」、電源コードをコンセント、本体から抜き、センサースイッチが反応しないことを確認してください。
- ②各関節の三角形の関節調整ネジ穴内の黒色のネジを時計回りに締めることで関節が固くなります。
- ③関節が任意の固さになるまでネジを時計回りに締めこみ、調整を行ってください。(No.2のドライバーを使用)



⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> アーム調整は、ネジの過剰な締め付けや、反時計回り(関節が緩む方向)に回さないでください。アームが破損する可能性があります。 他のネジを回さないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> 感染及び感電防止のため、本体電源スイッチを「切」にし、電源コードをコンセント、本体から抜き、グローブを着用して行ってください。 関節を緩くしたい場合は、当社までご連絡ください。 アーム調整は、ネジを時計回り(関節が締まる方向)に回してください。

●電源の切離し

- 長期使用しない場合は、電源コードを本体、コンセントから外してください。

MEMO

MEMO

保証書

本証書は、本証書に記載された製造番号（シリアル番号又はロット番号）の商品が、当社に於いて入念に製作し厳密な検査を完了して出荷されたものであることを証明し、かつ納入後1年以内に万が一発生した自然故障に対し、当社が無償修理の責任を負うことを保証するものです。

製品名 製造番号 (シリアル番号 又は ロット番号)	当社指定の製造番号が入ったシールを 貼付していないものは無効です
※ご住所	〒 TEL ()
※ご芳名	様
※納入日	年 月 日
保証期間	納入日より1年間
※販売店名	

※ご住所・ご芳名・納入日・販売店名の欄に記載がない場合は無効になります。

保証内容

- (1) 「正常な使用状態」において「製造上の責任」による故障について保証適用します。
- (2) 次の場合は保証期間中でも「有償修理」となります。
 - (イ) 取扱説明書及び添付文書等に記載された注意事項・使用環境・使用方法
・日常点検及び保守点検等を遵守しなかったことによる故障
 - (ロ) 火災、地震等天災又は異常電圧等による故障
 - (ハ) 保証書の所定事項の未記入、押印もれ、又は文字を勝手に訂正された場合等
 - (二) 製品に付属している消耗品等
- (3) 保証期間経過後又は保証適用外の故障につきましても、誠意をもって
修理いたします（実費修理となります）

歯科用セントラルサクションシステムの専門メーカー

 株式会社 東京技研

URL: <http://www.tokyogiken.com> E-mail: TG@tokyogiken.com

本社: 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
TEL: 03-3703-5581(代) FAX: 03-3705-1760

大阪支店: 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町59-5
TEL: 06-6368-8877 FAX: 06-6368-8876

仙台営業所: 〒981-3112 仙台市泉区八乙女4-10-4
TEL: 022-371-9651 FAX: 022-371-9653

名古屋営業所: 〒465-0007 名古屋市名東区香坂1001
TEL: 052-776-3355 FAX: 052-776-3356

福岡営業所: 〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7
TEL: 092-411-0377 FAX: 092-411-0376

横浜工場: 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

TGYA1-01V-15001F
TGD003070-00-01